方位

２０１８－１０　第４１号

一般社団法人　愛知県測量設計業協会

一般社団法人 愛知県測量設計業協会について

昭和49年11月、社団法人愛知県測量設計業協会は愛知県知事の認可を得て正式に発足しました。

「測量業」の生立ちは、昭和24年６月測量法の公布により、測量技術者の資格と担当範囲が制定され、ここに測量業者の誕生となり、昭和36年６月の測量法一部改正により、測量業の登録制度が法制化されました。

測量業者の組織では、昭和36年８月社団法人全国測量業協会が発足し、全国に８支部を設置。当地区にも中部支部が設置され活発な事業を展開しました。各県に会員が増加し、昭和42年８月支部内に愛知県支会が発足、地域独自の諸問題に対処してまいりました。その後、県内独自の組織の強化が叫ばれ、支会の公益法人化を目指し、昭和49年11月愛知県知事の認可により社団法人の資格を得、社団法人愛知県測量設計業協会が発足致しました。

「公益法人改革３法」が平成20年12月１日から施行されたことに従い、私共は一般社団法人化を目指すこととしました。愛知県建設部の御指導を賜り、平成25年４月１日付けで移行許可を受けることができました。

今後とも、公益法人の自覚のもと、使命に基づき、測量設計無料相談所の設置運営、災害等緊急時協力体制の整備確立等の地域社会への貢献、会員の親睦と団結、技術の研鑽等の研修活動、各種要望、陳情活動、並びに協会の広報活動等々、協会の目的達成のために、幅広い活動を展開して参ります。

創立以来、関係機関の皆様からの厚いご支援、ご鞭撻のお蔭を持ちまして、当協会も順調に推移してまいりましたが、昨今の業界を取り巻く環境は厳しく、健全な発展を図る為に、更に一層のご支援、ご鞭撻をお願いする次第であります。

会員一同は、一致団結してこの難局に対処致し、地域社会への貢献、技術の向上、経営の安定化、社会的地位の向上等々に、尚一層取り組んで参りたいと存じます。

協会の主要な事業

(1) 測量、調査、設計、技術等の向上の為研修及び講習会の開催
(2) 測量及び設計業の技術及び経営業務の改善に関する調査研究
(3) 災害復旧における技術援助計画の立案及び実施
(4) 関係機関及び各種団体との連絡及び提携
(5) 測量及び設計業の社会的使命に関する宣伝及び啓蒙
(6) 県民無料測量及び設計相談所の開設
(7) その他本会の目的を達成する為に必要な事業

「方位」 第４１号の刊行にあたって

広報委員会

委員長　永草 新吾

恒例となりました年一度、皆様にお届けしている「方位」ですが、本年も第41号が完成し、刊行することが出来ました。県民の皆様、一人でも多くの方々が読まれ、社会資本整備の必要性を再認識していただくと共に、理工系の大学生、専門学校生、高校生の学術資料になればと、今回も2000部を用意いたしました。県内全ての公立図書館・官公庁・大学・高校等で読み親しんでいただければ幸いです。

今年も島根県西部地震に続き、大阪北部地震及び西日本豪雨等各地で自然災害が頻発し、甚大な被害が相次いでいます。我々は常日頃から防災・減災を意識し災害支援体制の整備に努めておりますが、我々業界も就業者数が減少しており、将来の担い手確保が重要な課題となっています。

６月には国会で働き方改革関連法案が可決成立し、我々の職場においても多様な働き方、時間短縮等に取り組む時代を迎えることになりました。

今回の特集では、国や県をはじめとし会員企業での「働き方改革」への取り組みについて取り上げ紹介しています。

公益事業への取り組みの中では、国土地理院中部地方測量部との協働による「測量の日」の関連事業として、全国農業高校の測量競技会への参加校を決める愛知県大会での競技支援（測量甲子園）をはじめ、県内小学校児童を対象に関催している「地図教室」を紹介しています。

協会トピックスでは、当協会のウェブサイトリニューアルについて紹介しています。今後、協会の情報発信の場として、また、広報活動の一環として運用してまいりますのでご覧いただければ幸いです。

学生や転職入職者の皆様には、会員企業の新入社員（入社３年迄）及び若手・中堅技術者からの投稿を掲載しています。就職活動の一助となれば幸いです。

また、今回は愛知県建設部長 河野修平様からの巻頭言をはじめ、特集では、中部地方整備局、愛知県建設部からと多くの方に寄稿頂いたことに対し、皆様に厚くお礼申し上げます。

最後になりますが、この「方位」を多くの皆様に読んでいただき、当協会活動の社会的認知度がさらに向上できるよう努めてまいりますので、ご指導・ご支援をお願いする次第です。

－目　次－

一般社団法人　愛知県測量設計業協会について …… 1
「方位」第41号の刊行にあって …… 2

挨拶と巻頭言

刊行にあたり …… 今村　鐘年　5
刊行に寄せて …… 河野　修平　6

特集　「働き方改革」への取り組み

1.働き方改革（中部地方整備局の取り組み）……岩田　美幸　7
2.愛知県の働き方改革について …… 高橋　秀直　9
3.愛測協会員における「働き方改革」への取り組み
(1) 小さいけど日本一楽しく働ける建設コンサルタント …… 梶川　　洋　11
(2) 総労働時間削減に向けて …… 水谷　吉宏　12
(3)「働き方改革」への取り組み …… 岩田　敏彦　13

公益事業への取り組み

1.平板測量競技会への支援 …… 吉本　三広　15
2.地図教室と測量体験学習 …… 吉本　三広　16

協会トピックス

1.愛測協ウェブサイトをリニューアルしました！！ …… 17
2.新入社員紹介（入社3年目迄）…… 18
3.若手中堅技術者からの投稿 …… 22

協会委員会活動報告

1.協会活動報告 …… 26
2.総務委員会 …… 32
3.広報委員会 …… 33
4.測量委員会 …… 34
5.建設コンサルタンツ委員会 …… 35
6.危機管理委員会 …… 36

会員紹介（サ行）

１.㈱サンキ …… 37
２.三協調査設計㈱ …… 38
３.柴山コンサルタント㈱ …… 39
４.新晃コンサルタント㈱ …… 40

紹　介

協会顧問の紹介 …… 41
役員名簿 …… 43
委員会名簿 …… 44
会員名簿 …… 45

広告 …… 47
編集後記 …… 巻末

表　紙　　揮毫「方位」・・・・・・・・一般社団法人　愛知県測量設計業協会会長
今村　鐘年

表　紙（絵）　　アティックアート

挨拶と巻頭言

刊行にあたり

（一社） 愛知県測量設計業協会
会長　今村　鐘年

機関紙「方位」第41号の刊行にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

私ども協会は創立以来、国土交通省、愛知県をはじめとする行政機関の方々、並びに顧問団の先生方の温かいご支援頂き今日があります。

改めて厚く御礼申し上げます。

さて、東日本大震災から早や７年余を経過し、早期の復旧・復興は誰しもが願っています。しかしながら、この５月に長野県北部、６月に群馬県南部、数日後に大阪ベットタウン直下を震源とする大阪北部地震など、一昨年の熊本地震に続き、断層帯に起因する強い地震が全国各地で発生しています。東南海地震の発生が危惧されていますが地震頻発国に住んでいる以上、引き続き減災・防災の備えを怠らないようにしたいと思います。

防災・減災を考える上で必要とされる社会資本を整備強化していく中、私どもが生業とする測量・設計を担う技術者は真正面からこれらに取り組まなければと再認識しております。私ども測量設計業は測量に始まり、調査・計画・設計など建設業の下支えとして、更には災害協定を締結する地元企業として、安全・安心の県土づくりと地域の活性化のため社会資本整備の担い手として果たさなければならない義務と責任があります。

平成28年が「生産性革命」元年と位置づけられ、我々が関連する分野でも本格的なi-ConstructionのICT活用による効率化を推進するため、TLS・MMS・UAV等による３次元測量点群データによる公共測量や起工測量、出来高管理への利活用と、この流れへの転換が必須となりつつあります。今年度に入り、中部地整発注の直轄工事で2017年度末までに完成した工事受注者へのICT施工の普及状況と効果に関するアンケートの分析結果が出されました。それによると、ICT土工で起工測量からデータ納品までの一連の延べ作業時間は、従来施工と比べ約31％の削減効果が見られ、全国平均の約26％を上回る結果で、更に起工測量、設計データ作成、出来高管理を見ると、一部を自社で行う、いわゆる内製化施工の割合が16年度49％から17年度52％と徐々に増えている事も分かったとの事です。また、起工測量のデータ処理や出来高管理の出来形計測を自社で行った受注者が増えた事も明らかになりました。

このようにi-Constructionの目標は、生産性を向上させる事で企業の経営環境を改善し、働く方々の賃金水準の向上を図るとともに、安定した休暇の取得や安全な建設現場を実現する事を目指しており、生産性革命は働き方革命でもあると言われています。

工事現場では、ICT施工の普及が増加傾向にある一方で、設計業務委託等技術者単価が５年連続アップ改定など、当業界にも若干の明るさが見え始めました。

その反面、公共事業費の伸びが殆どない状況は、事実上、事業量の減少と同じ事だと感じています。その中で、技術者の高齢化、若手入職者の減少、長時間労働、休日出勤など、多くの課題に追い打ちを掛けられています。これら課題が多い中、担い手の確保や技術の継承を図り生産性を向上させる事が、携わる方々の働き方改革、ひいては測量設計業の魅力の向上に繋がり、「夢のある産業」として将来の担い手確保に繋がるものと期待されています。

しかし、公共事業費の伸びが止まり、先行きに不安を感じる中で、未来への投資を考える事は非常に難しい事も実感しています。その中で、測量の“主役”が近い将来、トータルステーション（TS）からレーザースキャナに交代しそうな勢いであり、レーザードロンなどを駆使し、高精度な地形データをTSの半分以下の日数で取得するとも言われています。レーザースキャナは測量効率に革命を起こす事となり、設計から維持管理まで徹底活用が可能になると思われます。点群データによる３次元設計、ICT建機など新技術の活用が可能となりますが、今後どのように測量設計業への恩恵がもたらされるのか、未来への投資に疑問を抱きながら、今少し様子を見るという対応も必要と感じています。

協会員は、日頃から「協調」と「競争」をキーワードに活動し、行政機関の良きパートナーとして自覚を持ち、「測量設計業を守り、測量設計業の必要性を発信していく」ための活動を継続し、安全・安心の県土づくりに寄与する、という大変重い役割を将来にわたって果たすために、地元企業が元気に活躍できる環境整備が重要と考えております。私ども日々研鑽・啓発に努めて参りますので、引き続き、行政機関の皆様には、協会並びに協会員への更なるご支援ご指導をお願い申し上げます。

刊行に寄せて

愛知県建設部長
河野　修平

一般社団法人愛知県測量設計業協会の会員の皆様方におかれましては、日頃より、新たな技術の研鑽に努められ、測量設計業の健全な発展、さらには社会基盤の整備、地域社会の繁栄に大きな役割を果たされておりますことに深く敬意を表するとともに、本県との防災協定の締結など、県政全般にわたり格別のご支援、ご協力を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。

さて、本年も各地で自然災害が発生しております。４月には島根県西部で、５月には長野県北部でそれぞれ震度５強の、さらには６月に大阪北部では震度６弱を記録する地震が発生しており、本県に発生が懸念されている南海トラフの巨大地震に対しても改めて備えを万全にせねばと感じさせられます。さらに７月には、西日本を中心とした広い地域を襲った記録的な大雨をはじめとする頻発する豪雨により、各地で河川の氾濫や土砂災害が発生するなど近年多発する風水害に対してもまた、より迅速な対応が必要となります。本県が管理する公共土木施設が被災した場合には、その状況把握や測量、設計、また、浸水被害対策及び土砂災害対策を、一刻を争う状況下において行わなければならず、貴協会と締結している災害協定において早急な対応がいただけることは心強く、改めて感謝を申し上げる次第です。

近年、建設産業を取り巻く環境は、就業者の高齢化や、次世代を担う若手技術者の不足など、大変厳しいものがあります。こうした中であっても、本県のインフラ整備及び維持管理を着実に進めていくことが重要であることはいうまでもありません。

本県では、2026年のアジア競技大会、2027年度のリニア中央新幹線開業といった節目の年にターゲットを置き、昨年度は、公道での遠隔型自動運転システムの実証実験、「あいち航空ミュージアム」のオープンなど、全国初となる取り組み、愛知ならではの取り組みに果敢にチャレンジをいたしまして、大きな成果をあげております。

さらに、今年度４月25日には、愛・地球博記念公園に「ジブリパーク」をつくる構想に関しまして、スタジオジブリ作成による基本デザインと、開業目標時期を2022年度中とすることを発表したところですし、来年９月には、新たな交流による新産業の創出や既存産業の充実を図るとともに、首都圏に並ぶ交流拠点を目指し、中部国際空港セントレアに国際展示場の開業を予定しております。

特に社会資本整備の分野においては、リニアインパクトを最大限に活かすための名古屋駅のスーパーターミナル化や「産業首都あいち」にふさわしい道路網の構築などの取り組みを進めるとともに、今後も、引き続き、こうした様々な取り組みを積極的に進め、愛知のさらなる発展に向けて、皆様方とともに取り組んでまいる所存であります。

また、少子高齢化社会を迎え、今後、建設事業に携わる技能労働者の不足が予想されることから、建設現場の生産性向上は避けることが出来ない課題となっている昨今、建設工事におけるＩＣＴ（情報通信技術）の活用についても、受発注者が連携した取り組みを進め、効率的かつ効果的な社会資本整備を実現していくことが求められています。

これらの施策を着実に進めていくためには、測量設計分野で確かな技術力と豊富な知識と経験を備えておられる皆様方の役割が不可欠であると考えており、ぜひとも「日本一元気な愛知」、「すべての人が輝く愛知」の実現に向けて、一緒になっての取り組みをお願いしたいと考えております。今後とも本県の建設行政になお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げます。

特集「働き方改革」への取り組み

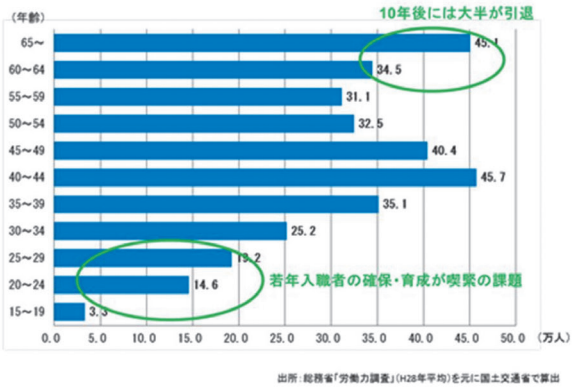
働き方改革（中部地方整備局の取り組み）

中部地方整備局
企画部長　岩田　美幸

1.はじめに

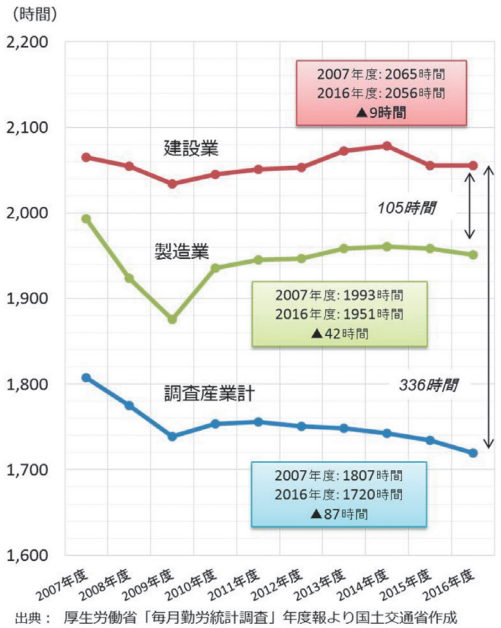
日本全体の生産年齢人口が減少する中、建設業の担い手については概ね10年後に団塊世代の大量離職が見込まれており、その持続可能性が危ぶまれる状況です。建設業は全産業平均と比較して年間300時間以上の長時間労働となっており、他産業では一般的となっている週休２日も十分に確保されておらず、給与についても建設業者全体で上昇傾向にありますが、生産労働者については、製造業と比べて低い水準にあります。将来の担い手を確保し、災害対応やインフラ整備・メンテナンス等の役割を今後も果たし続けていくためにも、建設業の働き方改革を一段と強化していく必要があります。

年齢階層別の建設技能労働者数



出所：総務省「労働力調査」（H28年平均）を元に国土交通省で算出

年間総実労働時間の推移



出典：　厚生労働省「毎月勤労統計調査」年度報より国土交通省作成

政府では、昨年３月の「働き方改革実行計画」を踏まえ、これまで、関係省庁連絡会議の設置や「適正な工期設定等のためのガイドライン」の策定など建設業の働き方改革に向けた取組を進めてきたところです。また、建設業団体においても、働き方改革４点セット（週休２日実現行動計画等）の策定など業界を挙げた取組が進展しています。国土交通省では、この流れを止めることなくさらに加速させるため、今般「建設業働き方改革加速化プログラム」を策定しました。今後、長時間労働の是正、給与・社会保険、生産性向上の３つの分野で新たな施策について、関係者が認識を共有し、密接な連携と対話の下で施策を展開してまいります。

2.主な内容

（１）長時間労働の是正に関する取組

１）週休２日制の導入を後押しする

公共工事における週休２日工事を大幅に拡大するとともに、週休２日の実施に伴う必要経費を的確に計上するため、労務費等の補正の導入、共通仮設費、現場管理費の補正率の見直しを行います。

２）各発注者特性を踏まえた適正な工期設定を推進する

長時間労働とならない適正な工期設定を推進するため、各発注工事の実情を踏まえて「適正な工期設定等のためのガイドライン」を改訂します。

（２）給与・社会保険に関する取組

社会保険に未加入の建設企業は、建設業の許可・更新を認めない仕組みを構築します。

（３）生産性向上に関する取組

１）生産性の向上に取り組む建設企業を後押しする

中小の建設企業による積極的なICT活用を促すため、公共工事の積算基準等を改善します。

２）仕事を効率化する

工事書類の作成負担を軽減するため、公共工事における関係する基準類を改定するとともに、IoTや新技術の導入等により、施工品質の向上と省力化を図ります。

３）限られた人材・資機材の効率的な活用を促進する

現場技術者の将来的な減少を見据え、技術者配置要件の合理化を検討します。

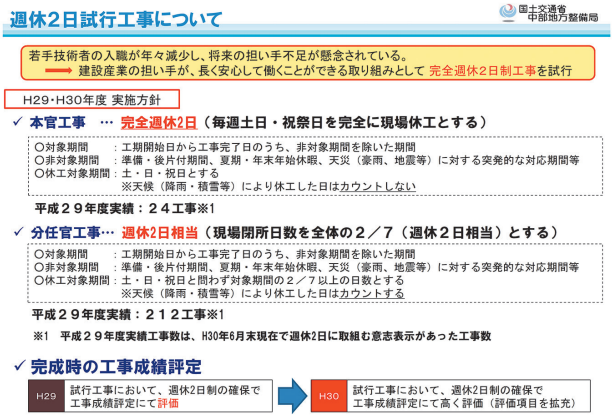
３.中部地方整備局の取り組み

中部地方整備局では、働き方改革を推進するため様々な取り組みを実施していますので、紹介いたします。

（１）週休２日制工事の試行

中部地方整備局の独自の取り組みとして、本官工事は、原則として毎週土日・祝祭日を完全に現場休工とする完全週休２日として実施し、分任官工事は、現場閉所日数を全体の２／７とする週休２日相当として試行工事を実施しています。完全週休２日工事の平成29年度実績工事数は、24工事※、週休２日相当の平成29年度実績工事数は、212工事※となっています。

※平成29年度実績工事数は、H30年6月現在で週休２日に取り組む意思表示があった工事



（２）業務委託「就業環境改善の取り組み」

建設コンサルタンツ業界では、担い手確保が重要な課題であり、その対策として、企業経営の安定と処遇改善に向けた環境改善、新３Ｋ（勤務地、給与、休日）対策に取り組まれています。また、建設コンサルタンツ業界より、発注者に対して業務依頼（時間外の作業依頼、節度ある提出期限の設定）の改善要望が寄せられました。中部地方整備局では、これを受け、平成29年4月以降契約の全ての業務で、発注者として受発注者対等な立場を再認識し、“ウィークリー・スタンス”の徹底を図ることを取り組み方針として業務環境の改善に向けた取り組みの試行を実施しています。

ウィークリー・スタンス「chubu ミッション５」

1. 依頼は、主任調査員名でメール送信
2. 原則、勤務時間外の作業依頼禁止
3. 作業内容に見合った作業期間確保（最低3日間）
4. 週末依頼の週初め提出期限の禁止
5. 原則、16時以降の打合せ禁止

＜業務の初回打合せ時の対応＞

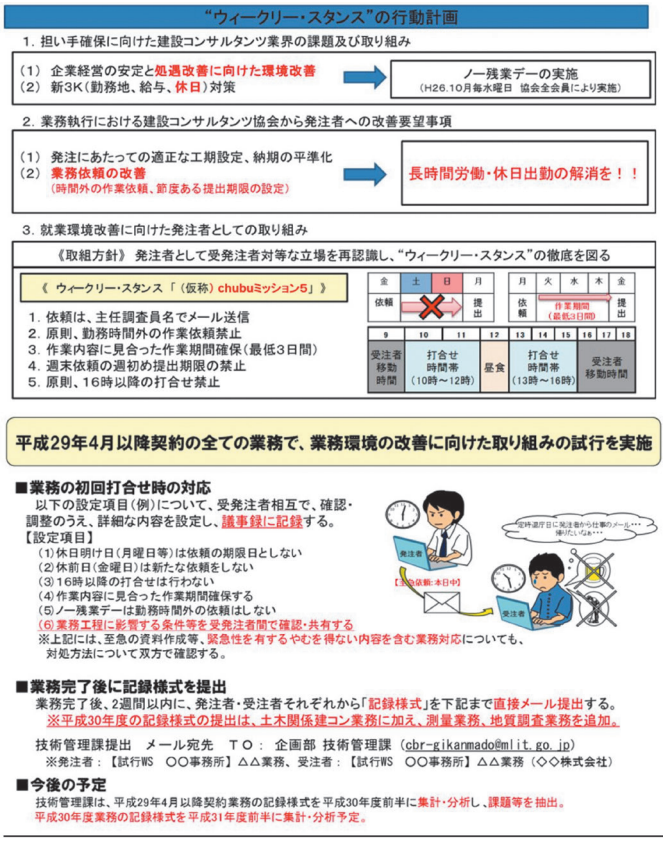
次の設定項目について、受発注者相互で、確認・調整のうえ、詳細な内容を設定し、議事録に記録する。

【設定項目】

（１）休日明け日は依頼の期限日としない
（２）休前日（金曜日）は新たな依頼をしない
（３）16 時以降の打合せは行わない
（４）作業内容に見合った作業期間確保する
（５）ノー残業デーは勤務時間外の依頼はしない
（６）業務工程に影響する条件等を受発注者間で確認・共有する

＜業務完了後に記録様式を提出＞

業務完了後、２週間以内に、発注者・受注者それぞれから「記録様式」を下記まで直接メール提出する。



平成29年度のウィークリー・スタンスの徹底により、就業環境改善が図られたとの声が業団体から寄せられたことから、平成29年度の記録様式の提出は、土木関係建コン業務のみとしていましたが、平成30年度より測量業務、地質調査業務についても記録様式を受発注者より提出することとしました。また、履行期間を確保するため、業務工程に影響する条件等を受発注者間でその都度、確認・共有することとしました。

４.まとめ

中部地方整備局は、働き方改革をより一層推進するため、ここで紹介した取り組みの他、引き続き適切な工期設定、施工時期の平準化、全面的なICTの活用、書類の簡素化等に取り組んで参ります。

愛知県の働き方改革について

愛知県建設部建設企画課
課長補佐　高橋　秀直

1.はじめに

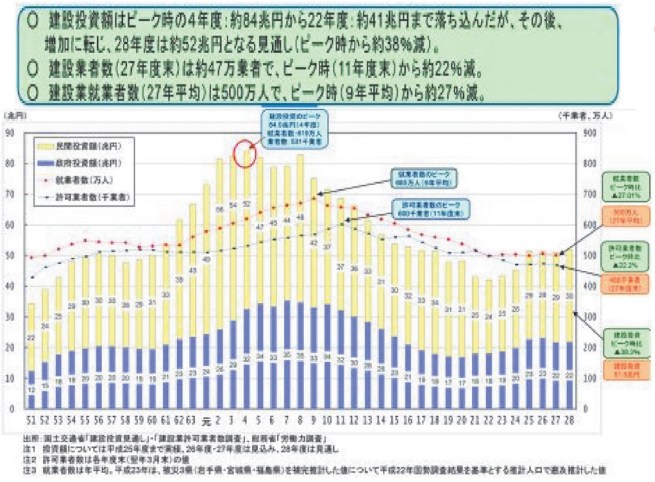
県民の安全・安心な生活や「愛知のモノづくり」を支える社会資本は、次の世代に伝えていかなければならない大切な財産であり、その整備及び適切な維持管理をしていく必要があります。

一方、近年の建設投資の落ち込みにより、受注競争の激化、労働環境の悪化、若年入職者の減少が誘発されるなど、建設業界における人手不足が深刻化しています。

こうした建設業界の現状を、建設投資額・業者数・就業者数の推移で分析してみます。

まず、民間・政府の建設投資額は平成４年度の約84兆円をピークに減少を続け、平成22年度には約41兆円で、ピーク時の約半分程度まで落ち込んでいます。その後、平成25年度から約50兆円に回復しつつありますが、ピーク時の約６割に止まっている現状です。

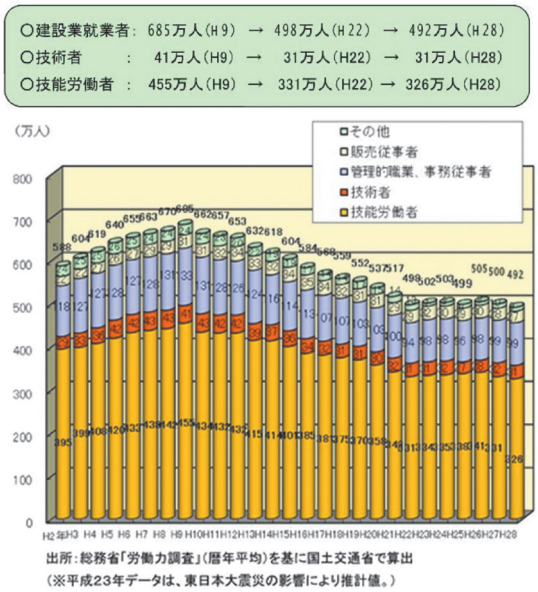
また、建設業者数は、平成27年度末時点において約47万業者で、平成11年度末のピーク時から約22%減少しています。（図－１）



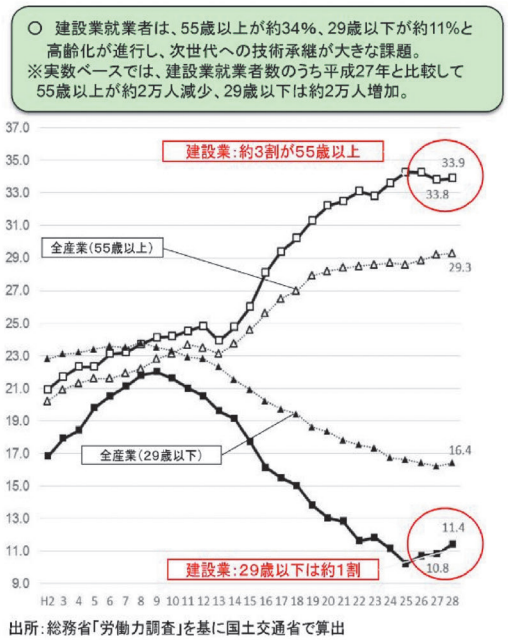
図－１　建設業を取り巻く現状について
（建設投資、許可業者数及び就業者数の推移）

さらに建設業就業者数は、平成27年度において500万人で、平成９年度のピーク時の685万人から約27%、193万人減少しています。（図－２）

特に建設業就業者の年代推移に着目すると、55歳以上が約３割、29歳以下は約１割と、他産業に比べても高齢化の進行が著しく、次世代へ技術の継承と担い手の確保が大きな課題となっています。（図－３）



図―２　技能労働者の推移



図―３　建設業就業者の高齢化の進行

2.国の動向

こうした中、平成26年６月に公共工事の将来にわたる品質確保とその担い手を育成・確保するため、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」、いわゆる品確法が改正され、「現在及び将来の公共工事の品質確保」と「担い手の中長期的な育成・確保の促進」が目的として追加されています。この改正には、基本理念として

「地域維持の担い手確保へ配慮する」ことや、適正な利潤が確保できるよう「ダンピング受注の防止」、「下請契約を含む請負契約の適正化と労働環境改善」などが盛り込まれています。

また、平成29年８月28日付けで、総務省・国土交通省の連名で、建設業界における働き方改革の具体的な内容が示された通知がなされています。

これによれば、長時間労働を行うことを前提とした不当に短い工期となることのないよう、適正な工期で請負契約を締結することや、建設工事に従事するものにおける週休２日などの休日確保、週休２日制工事における間接工事費の補正などが示されています。

３.愛知県における取り組みについて

本県では、こうした品確法の改正や国からの通知を受けて、様々な働き方改革や担い手確保・育成に取り組んでいます。

１）完全週休２日制工事について

一般的に休日が少ないといわれる建設業の労働環境を改善するため、平成28年度より、原則として「土曜日・日曜日」を休工とする「完全週休２日制工事」に取り組んでいます。平成29年度は５千万円以上の工事を対象に20件の工事において発注者指定型による展開を実施し、さらに請負者希望型による展開で80件の工事で完全週休２日制工事に取り組んでいます。

平成30年度からは土曜日・日曜日の休みに加えて、祝日もカウントした上で、達成率が90％以上の工事について工事成績評定点での加算をすることとしています。

２）誰もが働きやすい現場環境整備工事について

女性技術者なども働きやすい建設現場における労働環境改善のための「男女別快適トイレ」や「更衣室等」の設置を行う「誰もが働きやすい現場環境整備工事」に取り組んでいます。平成29年度からは１億５千万円以上の工事は全て対象として、発注者指定による展開を行い、25件の工事でこれらの取り組みを実施しました。

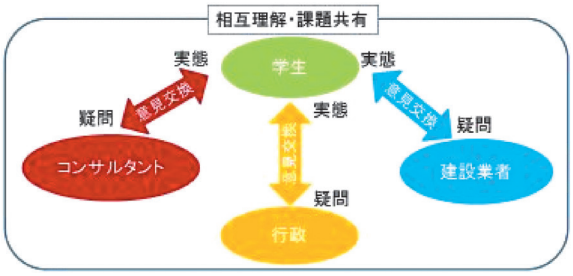
また、快適トイレの設置を行う工事については、発注者からの協議により、設置可能な現場は全て対応することとし、平成29年度は66件の工事で実施しました。

３）総合評価落札方式における担い手確保の取り組み

総合評価については平成16年度の導入以降、より適切な運用に向けて社会情勢の変化及び毎年度の運用の結果の分析、検証、発注者としての課題だけでなく、受注者である建設業界からの意見などを考慮し、様々な改善を行っています。このうち改正品確法にある「ダンピング受注の防止」として、価格据置型総合評価落札方式を平成28年度から導入しています。これは一定価格（据置価格）を下回る低入札については、その入札価格に替えて据置価格を代入し評価値を算出するもので、公共工事を施工する者が担い手を育成・確保するために必要となる適正な利潤を確保できないおそれがあることから導入したものです。その他、担い手の確保が将来にわたり公共工事の品質確保につながることから、「正規社員の雇用実績」を評価項目に設定しています。

４）イブニングサロンについて

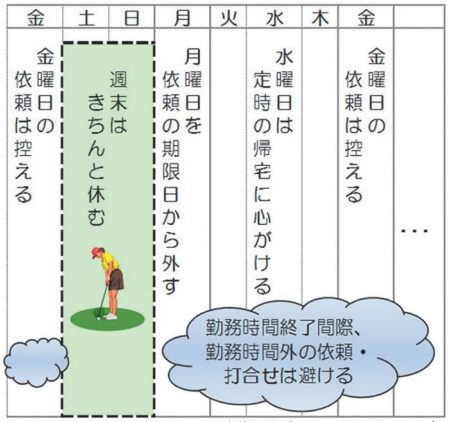
平成25年度から産学官の協同の取り組みとして、建設分野に携わる技術者と学生や先生との交流の場を、「イブニングサロン」と称して提供し、建設分野の魅力・やりがいを発信するとともに、若手技術者の人材育成の場として活用をしています。（図－４）



図－４　イブニングサロンのイメージ

５）ウィークリースタンスについて

建設部が所管する事業に関する事務を進める際の心構えとして、「一週間における働き方のルール」を改めて認識したものです。計画的に業務を進めるなど、発注者と受注者、あるいは、愛知県職員のお互いが働き方を意識することで働き方の改革を進めていくものです。



図－５　一週間の働き方のイメージ

４.働き方改革における今後の展開について

愛知県としても働き方改革の一環として様々な取り組みを展開していますが、決定打となるものが存在するわけでなく、また、一朝一夕に答えが出るものではありません。担い手確保においても人口減少社会の中で建設業界だけが改善するものではないと考えています。まずは建設業界に携わる一人一人が、これまでの働き方を顧み、時代のニーズに応じて改革し、意識して行動することが重要ではないでしょうか。今こそ建設業界を挙げて取り組んでいくことが課題であると思われます。愛知県としても継続してこれら取り組みを行っていく所存ですので、今後ともご支援賜りますようお願いいたします。

小さいけど日本一楽しく働ける建設コンサルタント

㈱梶川土木コンサルタント
代表取締役　梶川　洋

タイトルは当社のワークライフバランス活動のチームが２年前に決めたスローガン（ビジョン）です。

当社は７年前から『働き方改革』（当時はそういう言葉は一般的ではなかったので『ワークライフバランス』と言っていましたが）に取り組んでいます。一般的に『ワークライフバランス』というと『ワーク』と『ライフ』のシナジーと言われますが、当社の考え方は『ワーク』は『ライフ』の一部。『ライフ』を充実させるためには『ワーク』が楽しくなければ　ということで、さまざまな取組みを経て、今では社員が明るく、自立的に働いています。一昨年からその取組みを加速させるべくチームを編成し、社員が主体的に自分たちの働く環境を創っています。

そのチームが決めたスローガンです。

取組み始めから１年は社員の意識改革だけでした。

毎日夜10時まで働く体に染みついた習慣。なぜ、早く帰らなければいけないのか、早く帰れないのか、当社はどんな会社にしたいのか。そんなことを、皆が集まるたびに、また、毎月給与明細を渡すたびに、社員に説明し、対話を重ねて、社長の本気度を示しました。

２～３年経つと、意識が変わり行動が変わる社員が出てきます。そんな社員たちを巻き込みながら、グループで取り組めること、個人で取り組むことなどを話しあう機会をもちました。例えば、「１年間ボランティア休暇をとりたいという仲間がいたらどうする？」という問いに、「今は無理だよね。だけど、心情的には応援したいよね。だから、将来できるようにしようよ」などという対話会です。こんなことを通じて、属人化の排除や無駄な作業をなくす、チームで働くということができてきました。

そして、もう任せても大丈夫と判断し、主体を社員に移し「ちーむ活動」としたのです。

チーム活動の一部を紹介しますと、

・時間有給休暇制度導入
（社員からの稟議＆社員同士の対話で採決）
・朝礼にて２分間スピーチ
（スピーチには良かったコメントをF/B）
・月一で社屋周りの清掃及び草取り
・黒板（伝言板）の設置
・チーム対抗料理大会
・集中タイム制度の導入
・テーブルグリーンの導入
・ありがＭＡＸ大作戦（ありがとうカード）

などなど。

あたり前にみえる活動もありますが、すべて社員で考えて決めて実行している点が当社の特徴です。

ほぼ月一でイベントをしていますが、当社の場合、イベントは平日に行うことにしています。

ポールでバームクーヘン作り

サイクリング

年間休日日数122日、有給休暇取得率92％のうえに平日イベントですが、技術部の時間外労働時間も現在では月平均12時間程度となり、業績もあがっています。もちろん、残業代が減った分は賞与で還元しています。

『楽しく』働くということは、決して『らく』をするということではありません。『らく』をすると誰からも応援されなくなり、つまらなくなってしまいます。イキイキと働けなくなってしまうのです。社員に聞くと勝手なことを言われるのではないかと不安に思う経営者の方が多いですが、社員さんは会社のことを考えています。対話する機会を欲しています。米グーグルの研究＊でわかったように、生産性の高いチームは心理的安全性が高いです。そのためには対話の量が一番だと考えいています。※プロジェクト・アリストテレス

私たちの仕事そのものが『社会貢献』です。そこで、私たちのミッションを『日本一お客様に信頼されるパートナーとなり、インフラ整備を通じて地域の人々の幸せな暮らしを実現する』と定めて仕事に向き合っています。技術力の向上はもちろんのこと、社会人、コンサルタントとしての人財力向上のための各種取組みや関係力向上のためのチームビルディング、リーダーシップの社内研修を実施しています。まだまだ至らぬ点も多々ありますが、ご指導ご鞭撻をいただきながら成長して参りたいと存じます。

総労働時間削減に向けて

玉野総合コンサルタント㈱
経営管理部人事課課長　水谷　吉宏

1，はじめに

建設コンサルタント業界においては長時間労働の恒常化が問題となっています。そして、対策の多くは「残業削減」に焦点があてられていますが、当社は、残業そのものではなく、総労働時間全体に対しての時間管理（仕事管理）を効率化・適性化することが、有意義であると考えています。今回、当社の取組み事例や効果、今後の課題などを紹介いたします。

2，取組の具体的内容

総労働時間の削減は、結果として自分の時間を取り戻すことにつながり、取り戻した時間は自己への投資や家族のために活用することになります。

2.1 ノー残業デーの導入

2012年４月より社員の時間管理の意識を向上させ効率的な仕事の仕方を考えるように働きかけることを目的として、毎週水曜日を「ノー残業デー」とし、18時30分までに帰るように社員に働きかけています。また、2015年から業界のイメージアップを目的とした建設コンサルタント協会会員一斉ノー残業デー（６月と10月の全水曜日）にも参画しています。

2.2 過重残業防止策の徹底

2012年12月より、従業員の過重残業による健康障害発症や非効率生産による品質の低下を防止することを目的として、深夜残業（22時以降）及び法定休日としている日曜日の出勤を禁止としています。

2.3 休暇取得促進日の設定

2008年４月より年次有給休暇を取得しやすい環境整備を推進することを目的として、休暇取得促進日を設定しています。2017年度はゴールデンウィーク期間（５月１日、５月２日）、経済産業省が推進しているプレミアムプライデー（４月～11月の最終金曜日）、夏季休暇(７月～９月１週間以上)を休暇取得促進日として設定しました。

3，取組による効果

3.1 ノー残業デーの実施状況

2016年７月～2017年６月までのノー残業デー平均実施率は82.4％（前年＋2.8％）でした。導入した初年度（2012年度）が65.0％であったことを考えるとかなり定着してきています。また、従業員向けの実施後アンケートにて③帰宅指示が最も効果があるとの回答（図１参照）でした。上司からの帰宅を促すことが継続的に必要であることが分かります。

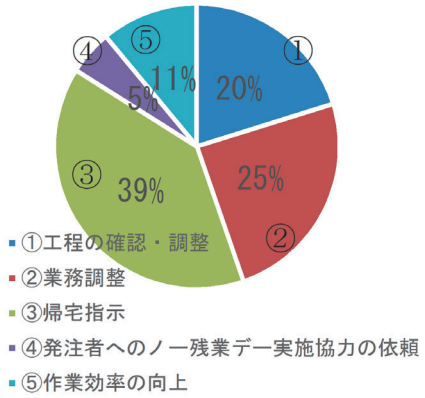


図-1　2017年ノー残業デー従業員アンケート結果

3.2 総労働時間の状況

2016年４月～2017年３月の１日当たりの総労働時間は8.7時間/日（前年±０時間）でした。過重労働防止策を導入した初年度（2012年度）が9.1時間/日であったので１日当たり40分短縮となっています。

3.3 有給休暇取得日数の状況

2016年度の平均有給休暇取得日数は7.9日で2012年度より1.9日増加しており従業員の中でメリハリのある働き方が定着しつつあります。

4，今後の課題・展望

2019年４月より働き方改革関連法案が施行されることになり、会社として過重残業の撲滅や多様で柔軟な働き方の実現に向けて取り組んでいく必要があります。

働きやすい職場環境を目指す活動の場として2016年度から「玉野女性技術者の会（以下、女性の会）」を発足し、社内の女性技術者の交流・意識向上・情報交換を行っています。女性の会と連携し、会社としてD&I※への取り組みをさらに推進させ、社員の個性や価値観を尊重しつつ、個人の持つ能力を最大限に発揮できる環境整備を目指し、検討していきます。

※Ｄ：ダイバーシティ(Diversity)　多様性
　見えるもの（性別、障害など）
　見えないもの（経験、文化、宗教、学歴、心理的傾向）
　Ｉ：インクルージョン(Inclusion)
　個々の違いを理解し、受入（内包・統合）する

「働き方改革」への取り組み

中日本建設コンサルタント㈱
取締役常務執行役員　岩田　敏彦

1．はじめに

「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」、いわゆる働き方改革法案が平成30年6月29日成立し、７月６日に公布されました。

ここで言う「働き方改革」は、（原点に立ち返った表現をすれば）日本の企業文化、日本人のライフスタイル、日本の働くということに対する考え方そのものに着手する改革を指しています。

この背景には、下記の点が挙げられています。

①労働人口の減少
15才以上で、労働する能力と意思を持つものの数（＝生産年齢人口－非労働力人口）の減少

②長時間労働
KAROUSHI（過労死）が英語辞書に掲載されるほど、企業のために全てを犠牲にして労働することが美徳とする企業文化の存在

③少子高齢化
世界でも有名な長寿国であり、長時間労働が女性の社会進出を阻害し少子化を助長

④低い労働生産性
労働者が一時間で生み出す成果を指標化した労働生産性は、OECD加盟国平均を下回りＧ７では最下位

多くの課題の中で長時間残業が世の中にセンセーショナルだったのは、電通の新入女性社員が過労自殺し労災認定したものの、検察は不起訴、それに対し世論が動き裁判所が不相当と判断した事件の存在でした。

これで、世の中の流れが変わり、多くの企業への立入りに労働基準監督署が動いたことです。

2．労基立入りと緊急対応（H29.2～H29.5）

2.1 労基立入りの本質

平成29年２月１日に当社へ北労働監督署による「臨検」（定期監督であり、申告監督ではなかった）がありました。労働基準法第101条等により事前通告無く特別司法警察職員権限で立入りが可能です。もっとも当社には１週間前に事前に話がありました。

このキモになっているのは、憲法第25条「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」の定めです。

と言うことで、監督官による監督の本質は、「労働者の健康問題」であることになります。

実際には、前年秋ころから前述の電通事件がメディアで話題になり当社でも全社員の残業時間把握（以前は年給者は対象外）を行ない、役員会で報告を始めていました。

2.2 立入りのポイント

立入りの際のポイント及び当社の対応状況と結果は以下の通りです。

・提出した社員の残業時間リストの信憑性確認
→パソコンログで検証され、問題なし
・36協定／特別条項の確認
→業界の実情理解と特別条項690hr/年への削減経緯の評価を受け今回は注意のみ
・管理監督者の厳密な特定と責任の確認
→部下のあるラインの課長以上と特定され、主幹以下50数名を非管理監督者に変更すると共に、みなし残業超過分の支払いを指導
・深夜残業代の支払い
→管理監督者への深夜残業代支払いの指導

2.3 当社の緊急対応

上記の指導等を踏まえて次の緊急対応を取っています。

・ノー残業デーを隔週から毎週へ
・80hr/月以上、100hr/月以上対象者を役員会で報告
・年度末時期とは言え、100hr/月越えの社員を抱える部署ごとに総務による対象者面談の実施

3．残業時間削減への包括的対応（H29.6～H30.5）

平成29年６月以降は下記の施策を全社的に実施し、残業時間削減に取組みました。

・主幹クラス以下（当社４級Ⅱ以下）を非管理監督者とする組織体制及び給与体系への変更
・部署ごとの年給者（＝管理監督者）・非年給者（＝非管理監督者）別、残業時間区分別に結果（人数）を公表
・80hr/月以上、100hr/月以上対象者の本部長への通知と各部署での対応・公表
・総務本部による部署ごと長時間対象者との意見交換、その後に上司を含めた３者意見交換を実施
・経営企画室による常設委員会（副本部長クラス）、業務改善ＷＧ（部課長クラス）等による管理監督者の意見・提案の把握
・平成30年１月より有給休暇取得促進日を設定し、有休の計画的取得の推進（三連休、祝日と土日の間、年末年始を考慮して年間７日を設定）
・平成30年４月から平成30年度年間有給休暇取得計画を各自で立案する施策を展開
・平成30年４月より時間有給休暇制度を適用
・併せて、平成30年４月よりメンタル不調者職場復帰フロー規程の改定による対策の徹底

これらの対応を順次実施した結果、社員には以下のような変化を感じています。

①“本人の自由な時間”から“やり残し業務の効率よくこなす時間”への残業タイムの認識変化

②100hr/月以上、690hr/年（当社36協定特別条項）以上の禁止意識

とは言っても、未だ次のような意識の不足があるのも事実です。

③今までの“仕事のやり方”を変えて通常勤務内でこなす意識への転換

4．働き方改革への包括的対応（H30.6～）

この頃から前述の働き方改革法案の詳細が具体的に明らかになり、特に長時間労働の規制条件がメディアを賑わすようになってきました。

また、建設コンサルタント協会も“働き方改革と生産性向上に向けた施策”を打ち出し、国交省と意見交換を始めました（平成30年６月４日）。

その中には法規制に準拠した建コン削減モデルが提案されており、各社残業実態の違い、取組みの違いもあることから、当社も中日本削減モデルの検討をスタートさせました。その最中に新聞報道があり、6月29日に働き方改革法案が成立しています。

そこで改めて、以下のような当社の働き方改革への取組みを社員に提示したのです。

4.1 働き方改革の目的

①社員が健康的に安心して働けること

②生産性の向上を目指すこと

③法的リスクを回避すること

〔時間外労働に関する条件〕

・100hr/月未満（休日労働含む）

・２～６ヶ月平均 80hr/月以下（休日労働含む）

・720hr/年以下

・45hr/月越え ６回以下/年

〔年次有給休暇の改正に関する条件〕

・年次有休10日以上の社員の年５日取得

これらの目的達成のため、会社として

①残業時間削減モデルの提示・推進による削減意識の浸透

②社員による自主的な業務フローの見直し

③必要とするIT化の実施と効率化の実施

の３点を目指し、その結果として、社員の待遇の一層の改善、優秀な担い手の確保、経営の安定を果たしたいと考えています。

4.2 働き方改革への当社包括的施策（既施策も含む）

当社の働き方改革のポイントは、以下の2点に集約されます。

●トップダウンとして総務本部からの施策の展開と併せて、次の点にある。

●ボトムアップとして管理監督者（部課長）クラスからの意見・提案の重視

その上で、以下の緒施策を展開・検討しています。

（H29.3.28 働き方改革実現会議決定に併せて記載）

（１）長時間労働の是正

・17:30以降の外線電話の基本取次なし

・17:30、20:00の帰宅要請チャイム、区切り時間（45、80、100hr/月）前段アラームの導入

・業務集中時間（２hr/日以内）の設定検討

・フレックス・勤務間インターバル制導入検討

・部課レベルの労働時間管理と業務平準化対応

・中日本削減モデルの提示と各自削減モデルの作成

（２）柔軟な働き方がしやすい環境整備

・時間有給休暇制度の導入（既出）

・テレワークの導入検討または試行

・短時間勤務制の多様なパターン利用

・有給休暇取得計画の策定（既出）

（３）女性等の人材育成など活躍しやすい環境整備

・女性離職者の再雇用に向けた環境の整備

再教育期間、再教育プログラムの設定

（４）病気の治療と仕事の両立

・メンタル不調者に対する個別対応の徹底（既出）

・産業保健体制の徹底（衛生委員会の設置等）

・教育プログラムの計画的開催

（５）子育て・介護等と仕事の両立

・子育て支援策の充実（男性参加への支援）検討

・要介護者を抱える管理監督者世代への支援検討

（６）IT ツール導入による働き方改革支援

・FMC（携帯電話を固定電話子機として利用）の採用

・パソコンのリモート活用

・（統合型）業務支援システムの導入検討

5．最後に

当社としては長時間残業問題に端を発した労基立入りに始まり、働き方改革の施策を推進する中で、企業文化、“働く”意識の変革による労働生産性の向上を目指しています。

が、会員各社にはそれぞれの企業文化があるように、当社も根底にある企業文化、“働く社員を大切にする”姿勢はいつまでも忘れずに進めたいと考えています。

公益事業への取り組み

平板測量競技会への支援

測量委員会
副委員長　吉本　三広

１．はじめに

「平成30年度 愛知県学校農業クラブ連盟測量競技会」が、６月13日に愛知県立安城農林高等学校で開催されました。日ごろ学習した測量技術を競い合う大会で、毎年実施されています。愛知県大会を勝ち抜き、全国大会（今秋鹿児島県で開催予定）への出場を目指し、県下農業高校６校にて、平板測量を競い合いました。

風がやや強い好天のもと、競技進行上のトラブルもなく、無事終えることができました。当協会は、競技審査と生徒たちを対象に測量体験実習を行いました。

安城農林高校は、1901年（明治34年）に愛知県立農林高校として創設され、今年度で117年目を迎える歴史と伝統を有する学校です。当校では、幅広い農業の担い手の育成を目指して、地域や産業界・大学等との連携を図りながら、環境教育の推進、食の安全・安心教育の徹底、農業教育の普及活動等に取り組んでいます。

２．競技会の概要

日ごろの教科学習や学校農業クラブ活動を通して習得した測量技術の実力を発揮し、さらに測量技術能力を高めることを目的に開催されました。

2.1 開催場所、日時

場所；愛知県立安城農林高等学校　グランドにて

日時；平成30年６月13日（水）晴れ

午前９時50分から午後３時30分まで

2.2 競技内容

第一次作業…平板測器による境界線測量

第二次作業…面積測定のための距離測定作業

第三次作業…図面補正、図面仕上げならびに三斜法、三辺法による面積計算

2.3 審　査

現地作業状況について、作業動作、測量精度等をチェックシートにより審査を行いました。

2.4 競技結果

安城農林高校、猿投農林高校、鶴城丘高校、稲沢高校、田口高校、渥美農業高校の６校による競技の結果、最優秀校１校および優秀校２校が選ばれました。

最優秀校・・・稲沢高校

優秀校・・・・安城農林高校、鶴城丘高校

受賞校の皆さん、おめでとうございます。日ごろの成果を十分に発揮できたかと思います。10月に鹿児島県で開催される、第69回全国大会での稲沢高校の健闘を期待します。

３．おわりに

競技会では正確さや迅速性が求められました。チームワークや個々の動きが問われるなか、はつらつとした姿勢に感心しました。

最後に、審査や機器説明、測量実習にご協力をいただきました協会会員９社15名の皆さまに、紙上をお借りし感謝申し上げます。

正確に測ろう

最優秀賞おめでとう

公益事業への取り組み

地図教室と測量体験学習

測量委員会
副委員長　吉本　三広

１．はじめに

「６月３日測量の日」の関連事業として、測量・地図の意義や重要性に対する国民の理解と関心を高めることを目的に、国土交通省国土地理院中部地方測量部と当協会が協働して、測量と地図に関する情報と知識を普及、啓発する運動を続けているところです。その一環として、小学生を対象に「地図教室と測量体験」を実施しました。

今年度は、尾張旭市立瑞鳳小学校（６月８日）、常滑市立三和小学校（９月20日）、豊川市立一宮南部小学校（９月27日）の３校で実施しました。ここでは、瑞鳳小学校で開催した様子を紹介いたします。

２．瑞鳳小学校で地図教室を開催

学校は、市の南西端に位置し、北側に矢田川が流れ、東側に公園が隣接した住宅地にあります。「伸びる」という校訓の下、豊かな情操を育み、命とまわりの人を大切にする児童の育成を目指しています。

2.1 開催日時、場所

平成30年６月８日（金）13時40分から15時20分まで
尾張旭市立瑞鳳小学校　尾張旭市大塚町２-10-１

2.2 開催内容

４年生92名を対象に、地理院次長田中様による講話と協会会員による測量体験学習を行い、地図や測量について理解を深めてもらいました。また、講話に先立ち、地理院次長田中様から３次元で見られるデジタル標高地形図や当協会から地図パネルなどを贈呈しました。

2.3 地図教室

地理院次長田中様による地理院の紹介や、地図が出来るまでの仕組みや基準点、地図記号などをわかりやすく説明しました。特に地図記号クイズでは、子供たちの興味を引き、みんなが元気よく、活発に答える場面も多くありました。

2.4 測量体験学習

協会会員で担当しました「測量体験」では「自分の一歩を知ろう、歩いて距離を測ろう、測量機器を使って正確な距離を測ろう」を、児童のみなさんに体験してもらいました。

10m距離を歩数歩測し、歩幅計算しました。その後ドッチボールを投げ、飛んだ距離を歩測で測りました。そして、トータルステーション（ＴＳ）で測定した距離と比べてみました。足による「自分の物差し」で距離を「測る」を体感してもらうよう実施しました。その後、測量機器の説明を受け、ＴＳのボタンを押して距離の測定を体験してもらいました。

３．おわりに

４年生の皆さんとのやり取りのなか、明るく元気で謙虚な姿勢に、私たちも清々しい気持ちになりました。今回の体験を通して、将来、測量作業の面白さや大変さを思い出してくれたらと思います。

最後に、瑞鳳小学校での測量体験学習でご協力をいただきました協会会員５社９名の皆さまに、紙上をお借りし感謝申し上げます。

地図について学ぼう

一歩を測ろう

協会トピックス

愛測協ウェブサイトをリニューアルしました！！

愛測協事務局

このたび、よりわかりやすく便利にご利用いただくため、平成30年４月１日に愛測協のウェブサイトを全面的にリニューアルいたしました。愛知県の花「カキツバタ」の色をメインカラーとして採用し、都市と自然が融合した愛知県を想起させるデザインへ変更しました。さらに、メニュー構成等の見直しを行い、目的のページに辿り着きやすくなりました。

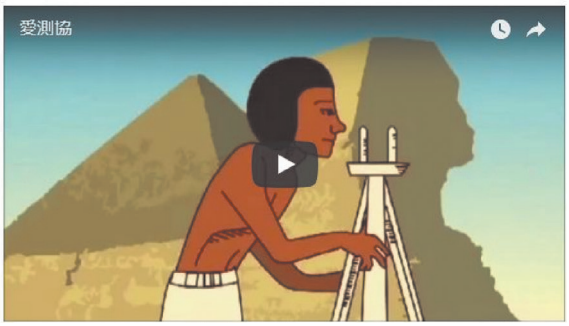
愛測協ウェブサイトデザイン

愛測協ウェブサイト
http://www.aisokkyo.or.jp/

愛測協サイトＱＲコード

また、多くの方に測量の仕事に親しみを持っていただけるよう、愛測協作成の動画「測量ってな～に？」がトップページより閲覧できるようになりました。現在の測量設計の技術革新は、目覚ましい発展を遂げています。それに伴い、業界の環境は大きく変化していますが、この動画は測量設計業界の基礎をわかりやすく丁寧に解説しております。測量の歴史をアニメでわかりやすく解説し、どなたでも楽しんで頂ける内容となっておりますので、ぜひご覧ください。

測量ってな～に？



愛測協作成動画

そして、スマートフォン・タブレットなど、端末に合わせて画面サイズを自動判別し、最適な画面表示でページを閲覧できるレスポンシブＷｅｂデザインを採用し、様々なデバイスで対応できる環境に改善いたしました。愛測協が刊行しております「方位」と「テクノアイ」についても、お手持ちのスマートフォン等で以下のＱＲコードを読み取り、ご覧いただけます。ぜひ、ご活用ください。

方位ＱＲコード　　テクノアイＱＲコード

今後、業界を目指す方々への情報発信や、業界を知って頂ける様な情報も更新していきたいと考えております。多くの方に、測量設計業を知っていただけるサイト作りを目指し、内容の充実を図るよう努めて参りますので、これまで以上に愛測協ウェブサイトを何卒よろしくお願い申し上げます。

また、愛測協ウェブサイトを利用していただいている皆様からご意見を頂戴したいと考えておりますのでウェブサイトの活用方法や改善についてご意見・ご要望がありましたら、ぜひお気軽にお問合せフォームよりお声をお寄せください。

新入社員紹介

勤務先
㈱アイエスシイ
入社年月日
2016年4月1日

【尊敬する人】
夢を持っているひと
【入社して感じたこと】
分からないことを聞きやすい環境であると感じています。入社したばかりのときは、こんなこと聞いていいのかなと思うことが多々あり質問できずにいました。しかし、新年会や忘年会、社員旅行で社員の皆さんとお話する機会が増え、コミュニケーションを図ることで質問しやすくなりました。そんな環境の中で働けることに感謝しています。
【将来の目標・夢】
具体的な将来の目標や夢はなかなか見つけられません。しかし、入社して3年目になり、以前よりもできることが増えたなと実感しています。もっと会社に貢献できるよう、これからも日々精進し、技師として成長していきたいと思います。

勤務先
㈱愛河調査設計
入社年月日
2018年4月1日

【尊敬する人】
祖父
【入社して感じたこと】
学生時代に想像していたときは測量というのは道路ばかりでするものだと思っていましたが、森の中や川も測量するということに驚きました。そして様々な現場に行くことができ、大変ですが上司の方や先輩方が丁寧に教えてくださるのでとても充実した日々を過ごすことができています。
【将来の目標・夢】
自分でできる業務を増やし、しっかりとした技術や知識をつけていきたいです。そして将来的には技術士を取得し、会社に貢献できるような人材になりたいです。

勤務先
㈱葵エンジニアリング
入社年月日
2017年4月1日

【尊敬する人】
学生時代の部活の先輩です。自分の信念を持っており、貫き通す所を尊敬しています。
【入社して感じたこと】
初めての社会人生活で何も分からず不安でしたが、気さくに絡んでくださる先輩や優しく丁寧に教えてくださる上司の方々のおかげで、不安が無くなりました。
図面で見ていたものを、現地の状況や施工現場を見ることでイメージをつかめた時に、仕事が面白く感じます。面白い・楽しいと感じることを見つけ続けられたらいいなと思いました。
【将来の目標・夢】
技術者として全うするための、技術や知識を身につけていきたいです。顧客への適切な説明・提案、部下への適切な指示を行う上で大切だと思いました。そのために、資格を取る事や先輩方の知識経験を吸収する事をしていきたいです。

勤務先
㈱石田技術コンサルタンツ
入社年月日
2018年3月1日

【尊敬する人】
ヨハネス・デ・レーケ
【入社して感じたこと】
社内の皆様が優しく、先輩たちのサポートを受けながら業務を進めています。自分は、ミスばかりして迷惑をかけていますが、忙しい中、丁寧に教えてくださります。一つずつ確実に覚えながらできることを増やしているので、より多くの業務を覚えていきたいです。
【将来の目標・夢】
営業として、担当エリアを広くしたいです。先輩社員の方が担当エリアが広いので、任されたエリアの受注が多く取れるようにして、他のエリアも任されるように仕事を進めたいです。最終的に営業部門の代表として、会社の評価を上げて、利益を伸ばしていきたいです。

勤務先
㈱ MSS
入社年月日
2017年４ 月１日

【尊敬する人】
ＭＳＳ酒井社長
【入社して感じたこと】
ネパールから2013年に来日し福岡県の測量専門学校を卒業、測量士補を取得後ＭＳＳに新卒入社しました。日本での社会人生活が始まって、測量の楽しさや日本の技術力の高さを感じています。ネパール人ですが、日本の測量技術者としての責任、誇りを持って仕事をして、お客様に喜んでもらう事や、地域の人の役に立てる事がとても楽しいです。
【将来の目標・夢】
私の10年後の目標は、測量士を取得し、母国にＭＳＳの支店を出して支店長になりたいです。その後は、国際的にＭＳＳを広げて色々な国で日本の測量技術を駆使して日本の様な安心・安全な道路や建物を作るという夢を持っています。海外進出には問題はたくさんあるとは思いますが、社長や上司に相談し、もっともっと勉強しながら夢に向かって頑張っていきたいと思います。

勤務先
㈱大増コンサルタンツ
入社年月日
2018年４月１日

【尊敬する人】
父親
【入社して感じたこと】
学生時代に想像していた仕事と、実際の仕事のスケール、責任感の大きさの違いです。
【将来の目標・夢】
私は、入社半年の新入社員です。現在、会社に慣れ始めてきた時期であり、仕事を覚えている最中です。
現段階の目標は、仕事を早く覚える事であり、上司の方々から頼まれた仕事を効率よく期限内に終わらせる事です。また、現場作業では、正確かつ迅速に作業が出来るようになり、現場の進捗を上げられるようになる事です。
将来は、建設コンサルタント業界で必要な資格を取得し、業務の担当者となり、仕事を受注されてから納品まで、一連の仕事を出来る様になる事です。

勤務先
㈱梶川土木コンサルタント
入社年月日
2018年４月１日

【尊敬する人】
父親
【入社して感じたこと】
入社して４ヶ月が経ち、仕事も慣れてきました。でもまだ出来ることが少なく教えてもらってばかりですが、みんな優しく丁寧に教えてくれます。もっと知識と技術を高めて一人前にできるようにこれから学んでいき頑張っていきたいと思います。
【将来の目標・夢】
資格をたくさん取る。

勤務先
㈱神田設計
入社年月日
2018年４月２日

【尊敬する人】
部署の先輩方
【入社して感じたこと】
年上の方が多いイメージがありましたが、とても話しやすくアットホームな感じで居心地良く感じました。
【将来の目標・夢】
入社した年は下積みの年でとにかく根気よく粘り強く仕事に取り組み、少しでも早く多くのことを培っていきたい。しばらくは仕事や技術を教えてもらえる側だが、新入社員が入社したら今度は自分が教える側に立つので、その時に自分が恥じないように今のうちにがむしゃらに覚えていく。
夢ははっきりしていないが、家族の中で土木関連の仕事に就いたのは自分が初めてなので、それに関する悩みやトラブルがあった際は自分に相談や頼ってもらえるような知識と経験を身につけ、定年を迎える時には今まで費やした仕事の内容や月日に満足だったと胸を張れるようにしたい。

勤務先
㈱サンキ
入社年月日
2017年3月27日

【尊敬する人】
メリハリのある人、リーダーシップのある人

【入社して感じたこと】
暑いときは暑いし、寒いときは寒い。雨が降ってもやるときはやる。そこはやはり大変に感じます。虫なども気を付けないといけないので、案外自然相手の仕事でもあるなと感じます。

【将来の目標・夢】
測量のこともちろんですけれど、対人関係のスキルであったり、説明するスキルであったり、どこででも通じる基本的な部分も向上していけるように頑張りたいです。

勤務先
㈱新日
入社年月日
2016年4月1日

【尊敬する人】
多言語（日本語のほか、中国語、韓国語など）で会話ができる人

【入社して感じたこと】
現場での仕事が多く、夏の暑い日や冬の寒い日には大変だと思う日もありますが、内業が苦手な私にはすごくやりがいのある仕事だと感じています。社内では多様な部署があり、部の内外を問わず仕事の話から雑談まで気軽にできる社風で、特に部内では上司や先輩方が自分の経験を踏まえて仕事のいろはを丁寧に教えてくださいます。私も早く測量技術を習得し、先輩から教わったことを今度は私が後輩に受け継いでいけるようになりたいと思っています。

【将来の目標・夢】
一つ一つの仕事をしっかりと覚え、必要な資格を取得し、会社だけでなく社会に貢献できる人間になりたいです。

勤務先
玉野総合コンサルタント㈱
入社年月日
2018年4月1日

【尊敬する人】
イチローさんの努力を惜しまないところがとても尊敬できます。

【入社して感じたこと】
測量業務にて社会資本整備の基礎データとなることの大事さや作業の安全を確保することの大切さを入社して感じました。
わからないことが多く不安でしたが、先輩方から丁寧に指導いただき、指導いただいたことを吸収して、早く先輩方を追い越していきたいです。

【将来の目標・夢】
今は知識も技術も未熟ですが、様々な業務を経験し専門分野のスキルをたくさん身に付けていきたいです。
また、土地家屋調査士や測量士など様々な資格に挑戦し取得をしていきたいです。そのためにも日々勉強し、取得できるように頑張りたいです。

勤務先
㈱中部テック
入社年月日
2016年4月1日

【尊敬する人】
いつも優しく働き者の祖母

【入社して感じたこと】
ベテラン社員でも知識や技術の向上を目指して講習会等に積極的に参加していることを知り、どんな立場になっても成長する気持ちが大切だと感じました。
業務においても既存の方法にとらわれず、柔軟な姿勢で最新技術を取り入れていく必要があると感じました。
また、測量に必要となるのは知識や技術、経験だけではなく、コミュニケーション能力や提案力、計画や判断など、総合的な能力や幅広い知識が必要であると感じました。

【将来の目標・夢】
まずは測量士の資格を必ず取得したいです。
また、先輩方から様々なことを学び、多くのことを吸収し業務に貢献できるようになりたいと思っています。

勤務先
中部復建㈱
入社年月日
2018年４月１日

【尊敬する人】
会社の先輩方
【入社して感じたこと】
　社会人としての自覚と責任感
【将来の目標・夢】
　私は入社したばかりの新入社員で、建設コンサルタント業界の仕事について知識が無く、先輩方の指導の下で仕事をさせていただいています。
　現在の目標は、任せられた業務に対して、ミスがないように正確に業務をこなせることと、自分で考えて業務に取り掛かれるようになることです。
　将来の夢は、技術士の資格を取得し、より専門的な業務をこなすことで、社員の一員として会社に貢献できるようになることです。

勤務先
中日本建設コンサルタント㈱
入社年月日
2018年４ 月１日

【尊敬する人】
スティーブ・ジョブズ
【入社して感じたこと】
　公共事業に関わる業界なので入社前は会社や業界に対して気難しい方々がたくさんいるイメージを持っていましたが、実際入社してみると上司の方、先輩方がとても優しく、営業先でお会いした方々も明るく話しかけて下さり、アットホームな業界だと感じました。
【将来の目標・夢】
　今はまだわからないことだらけなので具体的な目標や夢は明確には決まっていませんが、少しでも早く会社の戦力となれる様、今のうちに基礎的なところをしっかり覚え、新しい事にも進んで挑戦出来る様に心掛けていきたいです。

勤務先
フジコンサルタント㈱
入社年月日
2017年４月１日

【尊敬する人】
成龍
【入社して感じたこと】
　入社して一年が経ち、当初分からなかったことも大分理解できるようになったが、次の業務に進むとまた新たな疑問が出てくるため日々勉強が必要となる。
　現場作業が多くなるため季節の移り変わりを肌で感じることできるが、反面、夏や冬は日々の体調管理が重要となる。
【将来の目標・夢】
　まだまだ分からないことが多くあるので、一つ一つの作業の意味を理解して業務を進めていけるようにしたい。
　まずは測量士資格の取得。その後も測量業に関係する資格の取得を目指し、この分野での専門知識を身に付けていきたい。

勤務先
㈱名邦テクノ
入社年月日
2018年4月1日

【尊敬する人】
両親
【入社して感じたこと】
　多種多様な業務に携わることができ、たくさんのことに挑戦できる会社だと感じました。覚えることも多いですが、その分充実した毎日を過ごしています。
【将来の目標・夢】
　営業として、お客様に信頼される人になります。自分が営業する地域がより安全に安心できる街になるように貢献していきます。業務を通して、専門知識を深め、資格取得も挑戦していきます。

「新技術への取り組みと将来への夢」

――若手・中堅技術者からの投稿

勤務先
㈱石田技術コンサルタンツ
電力本部

私が近年、一番に取組んでいる事は今住んでいる地域に何らかのカタチで恩返しをすることです。

現住所は、私が生まれ育った地元ではなく、結婚後に移り住んだ地域です。小中学校の同級生もおらず、近所付き合いといえば、近隣の方に挨拶をする程度でした。その後、子どもが生まれ小学校へ入学すると、地元のお祭りや子供会の行事、小学校での催しなど、ボランティアで活動されている地元の方の活躍を見て、『自分たちは、見えないところで地元の方に支えられて生活をしている。』と感じ、私も「何かお手伝い出来ないか？」と思ったのです。

そんな思いを抱いていた所、子どもの友達のお父さんがPTA会長をされており、次期PTA会長のなり手がないという話を聞きました。

「面白そう」「一般の会社員には味わえない体験ができる」なにより「地元に恩返しができる」との思いから立候補し、PTA役員を３年間（２年間PTA会長、１年間PTA副会長）務めました。PTA活動というと「会議が…」「大変そう」などと敬遠されがちですが、プラス思考で取り組んでみると、思考力・調整力等、多種にわたる経験ができ、これからの人生にプラスとなる勉強の時間となりました。

この３年間、小学校の教職員やPTA役員と活動したことにより、近所の方のほうから私に声を掛けてくれるまでになりました。また、地元の役員と一緒に地元行事に携わり、祖父母の年代の方々と酒を酌み交わしながら人生観をご教示頂いたりと、平日休日関わらず忙しい日々でしたが、充実感があり、人生の中で濃い時間を過ごすことが出来ました。

現在は、PTAからは離れましたが、地元の部会等に入会し、充実した日々を過ごしています。今でも、地元行事があると、子ども達からも冗談交じりの冷やかしを受け、恩返しが出来ているかな？と思いながら楽しく活動しています。

今後も、地元から愛される『おじさん』から『おじいさん』になれるように楽しんでいきたいと思います。

勤務先
㈱ MSS
技術部 3D 計測係

私は現在、入社８年目でこれまでに名古屋市、東海三県を中心に様々な業務に携わってきました。中でも印象に残っているのは東日本大震災関連です。

測量専門学校を卒業し、2011年４月に新卒入社しました。震災が起こった１ヶ月後です。会社の先輩方は震災発生後、幾度となく現場に行っていましたが私が初めて行ったのは同年11月、茨城県潮来市という場所です。潮来市は液状化による被害が甚大な所で、実際現地を見た時には驚愕しました。今にも倒れそうな電柱や浮き上がった道路、マンホール、水路。発生から半年以上が経過していてこの状況ということに直後はもっとひどかったことが容易に想像できました。

入社３年目には宮城県石巻市に行きました。津波による被害でたくさんの方が亡くなられた場所です。３年経過しており初見では被害の爪痕はあまり感じられませんでしたが泊まっていたホテルで過去の写真などと比較した時のあまりの変わり様には涙が自然にこぼれました。災害は無いに越したことは無いですが必ずどこかで起きます。そんな中でインフラの復興や人々の悲しみを一日でも早く拭い去る事が出来るのは建設業だと業務を通じて感じることが出きました。今日まで私が続けてこられた原動力は、この経験や人々のお役に立ちたいという思いです。

最近発生した西日本豪雨でも早期の復興のため迅速に対応しました。その中で３Dレーザースキャナを活用しました。現在、私は３D計測係長を任せられており、これから主流になるであろうICT技術に対応するために日々勉強しております。３Dレーザースキャナは近づくのが危険な災害現場では大活躍です。安全な場所でよりリアルな面上で迅速に計測が出来ます。

ＭＳＳでは測量全般、何でも行い、また何でもチャレンジできる環境があります。最近では働き方改革も推進し職場環境も日々改善しています。

最後に、皆さまのお役に立てるよう、日々精進していきますので今後とも宜しくお願い致します。

「新技術への取り組みと将来への夢」

勤務先
㈱梶川土木コンサルタント
技術部

私が今チャレンジしていることは“早く家に帰る”ということです。

私ごとではございますがこの度、結婚することになりました。新婚ホヤホヤなので、とにかく二人でいる時間を多く取りたいのです。しかし、結婚したからといって、仕事の量が減るわけではありません。むしろ、今よりたくさん仕事をこなし、稼がなければなりません。

独身でいたころは、時間内にできなければ残業してやっていけばいいという考えでしたが、今は一人ではありません。夜遅くに帰れば、彼女の寝る時間も遅くなり、朝早ければ私より早く起き弁当を作ります。私以上に大変な毎日を送っています。

私にとってはありがたいことではありますが、私が思い描いていた日々とは少し違います。夜は早く帰って一緒にご飯を作り、朝は一緒に出勤するような日々が送れるものと思っていました。しかし現実はなかなか上手くいきません。

では、早く帰るために何をしなければならないのか考えました。ありがたいことに当社は私の思いに関し、全力で応援してくれます。であれば、変わらなければならないのは私自身です。

私の性格は、楽観的で時間感覚がゆるく、気分屋であると理解しています。今回のことで自分の働き方を振り返ってみると、性格がそのまま働き方になっていることに気が付きました。

早く帰るには性格を変える必要があるという結論に至るのですが、性格を変えることは容易なことではありません。しかし、自分の癖を理解できていれば対策は立てられます。まずは、キチンとした計画を立て、時間を意識することから再スタートしたいと思います。また、チャレンジしていくうえで、上司とも働き方について相談し自分にとって良い働き方を見つけて行きたいと思います。

決意表明のような文章になってしまいましたが、本書が発行される10月までに、改善することが目標です。

勤務先
㈱新日
調査測量部

私は㈱新日に入社してから現在13年目。用地測量、地籍測量、水準測量等土地に係る業務を中心に行ってきました。４年前、岩手県釜石市にて復興支援業務にも短期間ではありますが携わることができました。そこでは復興支援について考えさせられ、釜石市が非常に思い入れの強い場所となりました。

釜石市でもそうでしたが、現在様々な業種で人手不足が問題になっています。我々の業界においても技術者の人手不足は今後も大きな課題であり、担い手の育成や確保も深刻な問題となっています。

建設業界における新たな取り組みとして、人口知能（AI）を取り入れる動きが始まっています。東京オリンピックの建設現場でもi-Constructionを導入することにより、生産性を向上させ、工事や施工管理等に活用可能となる最新技術がますます注目されています。身近なところでは、UAV(ドローン)を測量に活用することで、樹木等の影響を受けずに広域の現況測量をより簡便に行えるようになりました。たとえば、急斜面のような人が立ち入ることが困難な場所や複雑な地形、災害現場などで、その生産性は著しく向上しました。

弊社では昨年外部講師による「i-Constructionの概要をはじめ測量及び土木設計での活用について」社内セミナーを開催したり、UAV（ドローン）の操縦訓練を実施するなど、日々変わりゆく測量技術の習得に向けて常に挑戦しています。

私自身新しい技術の動向に目を向け、常に挑戦し、従来の技術を受け継ぎ、その技術を未来の担い手に継承して行きたいと思います。また豊かで安心な社会の実現に貢献できる測量技術者となれるよう努力していきたいと考えています。

勤務先
㈱拓工
設計部

計画業務の技術伝承のため活動

私は、現在設計部計画課に所属し、計画審査資料の作成を主業務としています。

弊社では計画業務を担当する技術者および業務を主導的に担うことができる技術者育成に力を入れており、その一環としてこれまでに蓄積した水収支計算ソフト、各種マニュアルおよび様式を整備することで、確実な技術の伝承と全体的なレベル向上に取組んでいます。

具体的には水収支計算のプログラム開発やプログラム修正、計算結果の判定と修正箇所の把握など、現在までに蓄積した技術的財産をマニュアルとして整理して文書化する。事業毎の効果算定手法、よりどころとなる各種図書および通達などは、マニュアルとして整理して文書化するといった活動を行っています。

昨年度までに水収支計算においてはベースとなるプログラムの整理とプログラム作成マニュアルの作成、効果算定に関してはベースとなるファイルの整理と効果算定マニュアルの作成、台帳の整理を実施しました。

今後は整理した内容をさらに充実させて若手技術者の育成に役立てるとともに、実業務においても誰でも簡易に作成できるような形式に進化させていく計画です。

この活動を通して、水収支計算および効果算定について改めて一から学び直すよい機会になりましたし、個人のノウハウとして技術者それぞれが持っていた技術を共有することができ、自分自身の技術向上になったと感じています。

完成にはまだまだ時間を要すると思いますが、技術継承のため、自分自身の研鑽のためにも今後も取り組んでいきたいと思っております。

勤務先
玉野総合コンサルタント㈱
空間情報部空間調査課

1．現在の自分

平成25年に玉野総合コンサルタント株式会社に入社してはや６年目。入社当時を思い返すと、わからないことばかりであった。私が所属する部署は地形データを扱う業務が多く、既存の地形データを修正する業務や空中写真を背景にした写真地図データを作成する業務が盛んだったことを思い出す。これらの業務は、空中写真測量業務であり、専門知識が必要であったが、学生時代の私は、土木分野に関する基礎知識を中心に、測量分野は少し学んだ程度であり、写真測量の分野を詳細に学んではいなかった。

今思うと、当時はただ地図を作成してみたいという興味だけで就職活動をしていたのかもしれない。

入社後、上司に色々と指導を受けながら業務に携わってきたこともあり、現在では空中写真測量の知識を身に付け、OJTとして後輩を育てる立場となった。また、業務の種類についても地形データの更新だけでなく、ハザードマップ作成や点群データの解析など防災面の業務にも多く携わり、入社当時に比べ、業務の幅を拡げることができた。最近では、プログラミングを勉強し、新しい知識・技術を身に着けるために、日々苦戦しながら挑戦している。

入社当時はわからないことがたくさんあったが、現在の自分があるのは、心のどこかにやってみたいと思う好奇心や興味があったからではないかと思う。

2．将来の自分

近年では、CIMやUAVなどの新しい取り組みが行われており、時代の流れについていくためにも日々勉強していかなければならない。

現在の私は技術者としてまだまだ未熟であり、これからも覚えることがたくさんあると思うが、諦めず挑戦し、社会貢献できるように頑張っていきたい。また、自ら経験したことを後輩に教えていくためにも新しい知識や技術を身に付け、指導者として恥じないように日々前進していきたい。

「新技術への取り組みと将来への夢」

勤務先
㈱中部テック
測量部

私は中途採用で株式会社中部テックに入社して６年目の測量技術者です。異業種からの転職で測量士補、測量士の資格を試験で取得し、上司や先輩の指導のもと日々業務を行っております。

私が行ってきた業務の中で一番印象深いものは、総面積計30haの緑地の危険樹木調査です。

従来の弊社が行っていた調査方法では工期の遵守が難しく、またコストが大幅にかかることが予測されました。そこで調査ソフトを今回の業務用にカスタマイズし、タブレットに入れ調査を行いました。樹木位置図作成のためにネットワーク型RTK法を用いて樹木の位置を座標化し調査データと結びつけ、危険度判定等できるものは全て自動入力を行えるようにしました。これらによって現場作業、内業作業の大幅な短縮、人為的ミスの減少に大きく繋がり総本数 約３万本の樹木調査を想定よりも速く完了することができました。

また業務ではありませんが先日、国土交通省国土地理院中部地方測量部と愛知県測量設計業協会の協同で行われた、『測量の日関連地図教室と測量体験』のお手伝いをさせていただきました。小学４年生を対象に行われ子供達は真剣に楽しく取り組みながら歩測体験やトランシットにふれて測量に興味を持ってもらえた様に感じました。私には小学校に通う息子がおりますが、「測量の仕事をしている」と話しをしても言葉だけではなかなか理解は難しいようです。　こういった活動はとてもすばらしいと強く感じ、私としても普段の業務では味わうことのできないものを感じることができました。次回また機会があれば是非お手伝いをさせていただきたく思います。

今後も測量の知識、技術を取得し測量を通じて少しでも社会貢献できるよう努めてまいります。

勤務先
中日本建設コンサルタント㈱
建設技術本部

私は、2016年中日本建設コンサルタント㈱に入社し現在３年目の社員であり、県市や民鉄等の設計に係る業務を中心に行ってきました。

入社以来携わった業務の中で私が特に印象深く残っている業務が、民鉄の仕事で地下駅舎のバリアフリー化に向けた調査および基本・詳細設計業務で、１年の工期で実施するものでした。

地下駅舎のバリアフリー化計画を行うにあたりラッチ内外に各１基エレベーターを設置する必要がありました。設計業務を実施するため、駅周辺の測量とエレベーター計画位置で地質調査を行いました。また、基本条件となる通路・階段幅員を、当駅現状の駅利用者数から、将来の駅利用者を想定し、設定しました。

基本設計では、ラッチ内、ラッチ外に設置するエレベーターの配置計画を駅利用者状況や周辺環境をはじめ、構造形状や施工方法から比較案を抽出し、「構造性、使用性、利便性、維持管理性、施工性、経済性」の観点で項目別に比較検討し、総合評価より採用案の選定を行いました。比較検討の結果、ラッチ内については、２つあるホーム階段の１つを取壊しエレベーター設置する配置計画とし、ラッチ外については、現況階段を取壊し、エレベーターと階段を併設する配置計画しました。

詳細設計では、基本設計において決定した配置計画に対し、駅利用者の安全性に配慮し、工事中の通行を段階施工により可能とする施工計画を立案しました。

本業務で検討したエレベーターについては、来年以降に工事着手予定であり、自分が計画に携わったものが建設されることは非常に楽しみであります。

今後は、鉄道連続立体交差事業のような鉄道の線形計画、構造計画、駅および駅周辺計画などさまざまな検討課題がある業務に参加したいと考えています。その中で、私は、自分の設計した鉄道構造物に列車を走らせることが夢であります。

協会・委員会活動報告

協会活動報告（平成 29 年度～平成 30 年度上半期）

事務局長　中村　孝雄

【平成29年度（29年4月～30年3月）】

1.事業活動の概要

1.1 公益事業の推進

(1)行政機関等への情報提供事業

①測量技術講習会の開催

愛知県の建設事務所等からの依頼に応じて、測量概論や最新測量技術について、県職員と事務所管内の市町などの技術職員や用地担当職員を対象とした理論講義と実習による測量技術講習会を実施した。

②用地事務講習会への講師派遣

愛知県の建設事務所と、事務所管内市町の用地担当職員を主な対象として開催される測量と登記に関する用地事務講習会に講師を派遣した。

③機関誌を活用した活字媒体による情報提供

３月に測量と設計業務についての技術機関誌「テクノアイ」14号を編纂し、関係機関等へ配布した。

10月には機関誌「方位」40号を刊行し、発注機関や関係団体などに配布した。

(2)災害等緊急時における行政機関等との連携事業

①行政機関との連携活動

近年頻発する豪雨災害や今後予想される地震を始めとする大規模自然災害に備えて、県の各建設事務所毎に緊急協力体制を整備した。

愛知県知事との「災害時における愛知県建設部が管理する公共土木施設の緊急的な応急対策等の支援に関する協定」や、名古屋市との災害協定、全測連中部地区協議会と中部地方整備局との緊急支援に関する協定などに対応するため29年度も災害等緊急時における模擬訓練を９月に実施した。

②産学官における連携の強化

地理空間情報の効果的な活用推進の為、国土地理院主催の「地理空間情報産学官中部地区連携協議会」、測量法施行を記念する「測量の日・中部地区連絡協議会」に参画した。

③危機管理（BCP及びタイムライン）の取組み

大規模災害／南海トラフ巨大地震への対応として、会員及び協会ＢＣＰ作成とＢＣＭ（事業継続マネジメント）を実施した。

その中で特に、ステークホルダー（利害関係者）との連携について（一社）石川測協と意見交換を行った他、近隣の県測協との連携も模索した。

また、名工大 秀島教授の指導の下で災害時の「受援」計画の必要性を検討した。

(3)地域社会への情報提供事業

①測量設計無料相談事業

測量設計無料相談所を開設、県民からの相談に応じた。24年度からは相談窓口を事務局に一本化し、常時受付けている。

②測量の日記念行事に関連した啓蒙・啓発活動

「測量の日」記念事業への積極的な取組みとして、29年度は、刈谷市立朝日小学校、春日井市立上条小学校、豊橋市立細谷小学校の３校で４年生を対象に地図教室や測量体験実習を実施し、記念品として各校周辺地の航空写真パネルを贈呈した。

また、６月には猿投農林高等学校で開催された愛知県学校農業クラブ連盟（県内農業高校測量科７校加盟）主催の測量競技会県大会を後援、協賛した。当協会は、審査員等15名を派遣し、７チームが参加した測量競技の審判・採点のほか、参加生徒へ最新測量機器の取扱い説明や実習指導を行うなど競技大会をバックアップし、今年度も優秀校に対し協会長表彰を行った。

1.2 会員支援事業の推進

(1)会員向け研修会・見学会等の斡旋、開催

「営業」、「全員」、「BCP」等の各種研修会を開催し、あるいは他団体主催の研修会、講習会の斡旋により、会員の資質の向上に努めた。

11月には独占禁止法等の法令順守の徹底を促すため、（一社）建設コンサルタンツ協会中部支部ほか関係団体と共催し、コンプライアンス講習会を開催した。

また、県との定例勉強会など発注機関との意見交換の機会を通じて、相互理解に努めるとともに、公共事業に対する協会の考えや課題・要望を強く訴えた。

(2)測量設計業界の広報・啓蒙活動

当協会の存在と業務の社会的意義が広く一般にも周知されるよう、10月に刊行した機関誌「方位」40号を、発注機関のみならず県下公立図書館や技術系学校などへも広く配布し、業界のアピールに努めた。

また、ホームページは適宜更新し、当協会と測量設計業の広報・啓蒙に努めた。

(3)会員親睦事業

総会、営業研修会終了後の懇親会や、賀詞交歓会を開催することにより親睦の機会を設け、会員間における一体感の醸成に努めた。

(4)その他

会員の経営体質の強化を図るため受注状況の収集・分析を行い、各種研修会の場などで会員に提供した。

また、平素から国土交通省や愛知県の入札制度など会員に必要な情報の収集に努め、会員へ機会ある毎に情報の提供に努め、緊急度の高い情報については、直ちに会員に伝達した。

1.3 その他

(1)関連諸団体との提携の強化

（一社）全国測量設計業協会連合会、同中部地区協議会、（公社）日本測量協会中部支部、（一社）日本補償コンサルタント協会中部支部、（一社）愛知県土木研究会、（一社）建設コンサルタンツ協会中部支部、全国上下水道コンサルタント協会中部支部、中部地質調査業協会など測量設計業や建設業に関わる関連団体と平素の連絡を密にし、提携強化に努めた。

(2)その他

全測連と連携し、適正な歩掛と技術者日額人件費の積算についての調査・検討と提案会員へ各種実態調査を行い、作業歩掛、日額人件費の現状の把握に努め、問題点の改善に向けて関係機関に働きかけた。

また、官民境界確定の推進や業界の健全な発展のための施策拡大について、全測連とともに測量設計議員連盟に参加の自民党国会議員等に働きかけた。

2.主な会議開催状況（総会、理事会、委員会）

2.1 第44回定時総会

日　時　平成29年５月24日
場　所　名古屋逓信会館
議　題　(全議案承認)
第１号議案　平成28年度事業報告について
第２号議案　平成28年度収支決算の承認について
第３号議案　平成29年度事業計画について
第４号議案　平成29年度収支予算について
第５号議案　役員の選任について
記念講演会(総会閉会後)
テーマ　愛知県の建設事業について
講　師　愛知県建設部建設企画課長
中尾　恭啓　様

2.2 理事会

第１回　平成29年５月１日
・28年度収支決算、29年度定時総会について等
第２回　平成29年５月24日（名古屋逓信会館）
・29年度定時総会、各委員会の活動状況について
第３回　平成29年６月22日
・会員シェアの拡大、測量競技会及び地図教室について
第４回　平成29年９月７日
・県との定例勉強会及び各委員会の活動状況について
第５回　平成29年11月６日（ウィルあいち）
・全員研修会及び県との定例勉強会について等
第６回　平成29年12月20 日
・各委員会の活動状況、賀詞交歓会及び予算執行状況について
第７回　平成30年２月６日
・役員改選、営業研修会及び全測連・同中部地区協議会の活動について
第８回　平成30年３月28日
・役員改選、第45回定時総会及び各委員会の活動状況について

2.3 委員会

(1)総務委員会
第１回　平成29年６月19日
・定例勉強会について等
第２回　平成29年11月10日
・正・賛助会員入会、ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ講習会及び賀詞交歓会等について
第３回　平成30年２月21日
・営業研修会、委員会決算・予算について等

(２)広報委員会
第１回　平成29年４月21日
・29年度事業計画及び「要望書」について等
第２回　平成29年７月21日
・「方位」について
第３回　平成29年８月29日
・ホームページのリニューアルについて等
第４回　平成29年12月６日
・「方位」の配布結果及びホームページ部会報告について
第５回　平成30年３月16日
・決算・予算及び要望活動について等

(3)測量委員会
第１回　平成29年７月14日
・測量委員会概要及び各活動詳細について
第２回　平成29年12月15日
・委員会行事報告について

(4)建設コンサルタンツ委員会
第１回　平成29年４月19日
・委員会予算及び各事業活動報告について
第２回　平成29年６月７日
・ｱｿｼｴｰｼｮﾝA･I、ｼﾋﾞﾙｴﾝｼﾞﾆｱA･I及び定例勉強会について

第３回　平成29年７月４日、
第４回　平成29年８月８日、
第５回　平成29年９月21日、
第６回　平成29年10月17日、
第７回　平成29年11月９日、
第８回　平成29年11月30日、及び
第９回　平成30年１月26日
・ｱｿｼｴｰｼｮﾝA･I及びｼﾋﾞﾙｴﾝｼﾞﾆｱA･Iについて
第10回　平成30年２月28日
・テクノアイ刊行及び多自然川づくり委員会について等

(5)危機管理委員会
第１回　平成29年４月24日
・協会ＢＣＰ及び他測協との連携について
第２回　平成29年６月14日
・活動スケジュール及び災害訓練について
第３回　平成29年８月23日
・石川測協との意見交換会について等
第４回　平成29年11月15日
・ＢＣＰアンケート及び企業防災カルテについて
第５回　平成29年12月26日
・あいちＢＣＰコンパクト版及び復興まちづくりについて
第６回　平成30年２月23日
・受援ガイドライン及び災対委行動マニュアルについて等

3.主な事業活動状況

3.1 監事による会計監査

平成29年５月１日、28年度の会計及び業務について、藤本、長谷川両監事により監査が実施された。

3.2 要望活動の実施

(1)平成29年５月25日、正副会長が愛知県河野建設部長はじめ幹部へ『協会員の更なる活用と受注機会の拡大』を要望した。
引き続き５月末から６月初旬に、全会員が25班に分かれ県内の全発注機関に対し、同旨の要望活動を実施した。併せて、テクノアイ15号を配布した。

(2)平成29年６月30日、正副会長が、愛知県建設部長、次長、両技監、建設企画課長、用地課長へ、久保田、鈴木、佐藤顧問の同席を得て、『協会員の更なる活用と受注機会の拡大』を要望した。

(3)平成29年７月26日、27日に正副会長と総務委員長が県内全建設事務所長を訪問し、同旨の要望活動を実施した。

(4)平成29年９月12日、自由民主党愛知県支部連合会主催の「政策懇談会」に会長、青木副会長(政治連盟会長)が出席し、国に対して「着実な国土保全、安全・安心の確保を含めた施策・事業に政策資源を重点的に投入すること」、県に対しては「官民境界の整備及び道路台帳のデジタル化と一元管理に対して政策資源を重点的投入すること」等を強く要望した。

3.3 災害緊急時協力体制のＰＲ活動の実施

平成29年６月上旬に、全建設事務所を各地区の正副幹事会社が訪問し、愛知県知事との災害協力に関する協定に基づく当協会の体制についてＰＲを行った。

3.4 測量競技会の後援

１．事業活動の概要　1.1 公益事業の推進　(3)地域社会への情報提供事業で記載済

3.5 地図教室（測量の日記念行事）の実施

１．事業活動の概要　1.1 公益事業の推進　(3)地域社会への情報提供事業で記載済

3.6 災害査定に関する勉強会の開催

月　日　平成29年７月20日
場　所　名古屋都市センター
第１部　「協会ＢＣＰについて」
講師　危機管理委員長　岩田 敏彦
第２部　「災害査定とは？」
講師　㈱葵エンジニアリング
技術部長　神戸　譲
第３部　「災害査定の実例紹介」
講師　危機管理副委員長　早川 正喜
第４部　「i-Con＆CIMの概要と災害査定における３次元CAD活用のご提案」
講師　川田テクノシステムズ㈱
嘉津 敏明 様

3.7 (一社)岡山県測量設計業協会講習会に講師派遣

(一社)岡山測協が９月５日に開催する「BCP講習会」に講師の派遣依頼があり、当協会から実務経験者として、危機管理委員会の早川・山本両副委員長を派遣した。（参加者　岡山測協会員50名）

3.8 災害等緊急時における連絡模擬訓練

(1)平成29年８月29日、名古屋市との災害協定に基づき、（一社）名古屋市測量設計業協会と合同で実施される、名古屋市緑政土木局主催の実地訓練に参加した。

(2)平成29年９月７日､愛知県との災害協定に基づき、災害等緊急時における連絡模擬訓練を実施した。
県内広域で大規模地震が発生したとの想定下、第１報で会員の安否確認の後、会長を本部長とする災害対策本部を設置し、第２報で情報伝達、出動可能な技術者数の把握などの訓練を実施した。

3.9 シビルエンジニアＡ・Ｉの開催

月　日　平成29年９月29日
場　所　愛知県西三河建設事務所（参加者　34名）

建設事務所職員の方々と会員各社のリーダー的技術者との意見交換会を開催した。第５回目の今年度は西三河建設事務所において、３グループに分かれて発注者、受注者のそれぞれの立場で、今後の公共事業の円滑な進行と品質の向上を目指して率直な意見交換を行った。

3.10 愛知県建設部との定例勉強会

月　日　平成29年10月12日
場　所　ウィルあいち
出席者　愛知県建設部建設企画課長
　　中尾　恭啓 様始め　23名
　　協会　今村会長始め　16名

愛知県建設部本庁及び各建設事務所の代表をお迎えし、県行政の方針、測量設計業者への要望等をお聞きした。また、協会側からは協会員の受注機会の拡大要望はじめ、委託業務遂行上の疑問点や改善点などについて幅広く意見交換を行った。

Ａ　協会員の受注機会の回復について
Ｂ　大規模地震災害に対する取組みについて
Ｃ　委託業務成績評定における評価基準について
Ｄ　業務の設計変更・業務内容等に関する対応について
Ｅ　ワークライフバランスの改善施策について

3.11 他測量設計業協会との意見交換会の実施

(1)(一社)大分県測量設計コンサルタンツ協会とのＢＣＰ策定に関する意見交換会
月　日　平成29年５月12日
場　所　ホルトホール大分 会議室
出席者　（一社）大分測協：馬原理事（総務委員長）始め11名
　　（一社）愛測協　：正副会長始め８名

(2)(一社)石川県測量設計業協会とのＢＣＰ策定・災害支援に関する意見交換会
月　日　平成29年10月13日
場　所　愛測協 会議室
出席者　（一社）石川測協：新家会長始め７名
　　（一社）愛測協　：正副会長始め８名

(3)(一社)石川県測量設計業協会との次世代交流会
月　日　平成30年２月14日
場　所　石川県政記念 しいのき迎賓館
出席者　（一社）石川測協：磯野次世代研修委員長始め７名
　　（一社）愛測協　：梶川副会長始め６名

3.12 測量研修会等に講師を派遣

愛知県建設部等からの依頼に応じ、測量や用地実務等についての研修会に講師を派遣した。受講者は、県職員及び事務所管内の市町村等の担当職員が中心であった。

(1)特殊車両通行許可申請審査業務研修会
県道路維持課の依頼により、特車審査事務を担当する県、市町村職員、道路公社職員に対して許可制度の概要や審査実務について講義を行った。
①第１回講師派遣（三河地区）（４/13）
　愛知県西三河総合庁舎 大会議室（参加者42名）
②第２回講師派遣（尾張地区）（４/26）
　愛知県自治センター大会議室（参加者64名）

(2)建設技術研修会
県建設企画課の依頼により、「測量設計業務委託監督基礎講座」（県・市町村職員対象）に講師を派遣し、測量概論と最新の測量技術について講義を行った。
愛知県自治研修所 視聴覚室（６/20）（参加者57名）

(3)豊田市建設技術職員研修（10/18）（参加者15名）

(4)測量技術講習会
①第１回講師派遣（10/23）
　愛知県一宮建設事務所（参加者27名）
②第２回講師派遣（11/７）
　愛知県豊田加茂建設事務所（参加者19名）
③第３回講師派遣（11/８）
　愛知県新城設楽建設事務所（参加者25名）

3.13 全員研修会の開催

月　日　平成29年11月６日
場　所　ウィルあいち（参加者　48社56名）
テーマ　29年度上半期の協会活動と新工法の紹介について
講演会①
「ＩＰＨシステム（内圧充填接合補強）について」
講　師　中日建設㈱専務取締役　高木賢一朗 様
講演会②
「防災・減災の地山補強土（PAN WALL）工法について」
講　師　PAN WALL工法協会　吉金 正益 様

3.14 コンプライアンス講習会（独占禁止法順守講習会）の開催

月　日　平成29年11月13日
場　所　ホテル名古屋ガーデンパレス（参加者51社105名(全体273名)）
テーマ①「独占禁止法と公正取引委員会」
講　師　公正取引委員会事務総局中部事務所
　　経済取引指導官　樋田　高文　様

テーマ②「下請法の運用基準について」
講　師　公正取引委員会事務総局中部事務所
下請課長　齋藤　誠誉　様
テーマ③「公務員倫理について(受発注者間のコンプライアンス保持)」
講　師　国土交通省中部地方整備局
適正業務管理官　置田 裕巳 様

3.15 アソシエーションＡ・Ｉの開催

月　日　平成29年12月８日
場　所　愛知県尾張建設事務所（参加者80名(内、協会25名)）

公共事業の円滑な進行と品質の向上を目指して、発注者である愛知県尾張建設事務所及び施工者である尾北建設協会と合同で、会員が設計業務を担当した小牧市城山２丁目地内の桃花台線（モノレール下部工）撤去工事について現場研修と意見交換を行った。

3.16 「テクノアイ」、「方位」の刊行、配布

28年度に行ったシビルエンジニアＡ・Ｉ（意見交換会）の概要と、29年度に実施した、測量技術講習会及び危機管理委員会の活動報告を取りまとめた「テクノアイ」15号を刊行（1,200部）し、６月に発注機関等を中心に配布した。

10月には、機関誌「方位」40号を刊行（2,000部）し、同月中旬に全会員が26班に分かれて、国、県、市町村など発注機関への配布活動を行った。

3.17 賀詞交換会

月　日　平成30年１月12日
場　所　ホテル名古屋ガーデンパレス

知事、建設部長始め県建設部幹部の方々や顧問の先生方をお迎えして、総勢180余名が参加し盛大に新年を祝い、交流を深めた。

3.18 営業研修会

月　日　平成30年２月16日
場　所　長島温泉ガーデンホテルオリーブ（参加者39社60名）
テーマ①､②「下請法について」及び「平成29年度受注経営状況の報告」
講　師　総務副委員長　　永草　新吾
テーマ③　「ＢＣＰ(事業継続計画)について」
講　師　危機管理副委員長　早川　正喜

3.19 イブニングサロンへの参加

異業種や異世代間がフランクな話合いにより相互理解を深め、建設分野の魅力発信と若手人材の育成を目的として、平成25年度に愛知県が中心となって設立した「イブニングサロン」に参画した。

今年度は、愛工大名電高等学校(７/４)、名古屋大学(７/10)、豊田工業高等専門学校(10/10)、豊橋技術科学大学(11/２)の建設系専攻の学生・生徒等を対象として開催され、当協会からは会員企業の若手社員が参加し、学生や行政・他団体の技術者などと交流を深めた。

3.20 関係団体との連携

(1)平成29年５月31日
愛知県土地家屋調査士会総会に出席
(2)平成29年６月２日
愛知県土木施工管理技士会総会に出席

【平成30年度（30年4月～30年9月）】

1.主な会議開催状況（総会、理事会、委員会）

1.1 第45回定時総会

日　時　平成30年５月21日
場　所　ホテル名古屋ガーデンパレス
議　題　(全議案承認)
第１号議案　平成29年度事業報告について
第２号議案　平成29年度収支決算の承認について
第３号議案　平成30年度事業計画について
第４号議案　平成30年度収支予算について
第５号議案　役員の改選について
記念講演会(総会閉会後)
テーマ　愛知県の建設事業について
講　師　愛知県建設部建設企画課長
中尾　恭啓　様

1.2 理事会

第１回　平成30年５月２日
・29年度収支決算及び第45回定時総会について
第２回　平成30年５月21 日
（ホテル名古屋ガーデンパレス）
・30年度定時総会及び委員会の活動状況について
第３回　平成30年７月２日
・各委員会の活動報告等について
第４回　平成30年９月５日
・県との定例勉強会について等

1.3 委員会

(1)総務委員会
第１回　平成30年６月28日
・定例勉強会のテーマについて等
(2)広報委員会
第１回　平成30年６月27日
・年度事業計画及び協会ホームページについて等

第２回　平成30年９月12日
・「方位」について
(3)建設コンサルタンツ委員会
第１回　平成30年６月６日
・委員会のスケジュールについて等
第２回　平成30年７月18日
・ｼﾋﾞﾙｴﾝｼﾞﾆｱＡ・Ⅰ他今年度行事について等
第３回　平成30年９月７日
・ｼﾋﾞﾙｴﾝｼﾞﾆｱＡ・Ⅰ等について
(4)危機管理委員会
第１回　平成30年６月６日
・委員会のスケジュールについて等
第２回　平成30年７月10日
・活動スケジュール及び協会ＢＣＰについて
第３回　平成30年８月８日
・災害模擬訓練について等
第４回　平成30年９月20日
・災害査定に関する座談会について

2.主な事業活動状況

2.1 要望活動の実施

(1)平成30年５月25日、正副会長が愛知県河野建設部長はじめ幹部へ『協会員の更なる活用と受注機会の拡大』を要望した。
引き続き５月末から６月初旬に、全会員が25班に分かれ県内の全発注機関に対し、同旨の要望活動を実施した。併せて、テクノアイ16号を配布した。
(2)平成30年６月19日、正副会長が、愛知県建設部長、次長、両技監、建設企画課長、用地課長へ、久保田、鈴木、佐藤顧問の同席を得て、『協会員の更なる活用と受注機会の拡大』を要望した。
(3)平成30年７月４日、５日に両副会長と総務委員長が県内全建設事務所長を訪問し、同旨の要望活動を実施した。
(4)平成30年9月12日、自由民主党愛知県支部連合会主催の「政策懇談会」に会長、会長及び青木副会長(政治連盟会長)が出席し、国に対しては「着実に国土保全、安全・安心の確保を含めた施策・事業に政策資源を重点的に投入すること」、県に対しては「官民境界の整備及び道路台帳のデジタル化と一元管理に対して政策資源を重点的に投入すること」等を強く要望した。

2.2 災害緊急時協力体制のＰＲ及び前払金制度に関する要望活動の実施

平成30年６月初旬に、全建設事務所を各地区の正副幹事会社が訪問し、愛知県知事との災害協力に関する協定に基づく当協会の体制についてＰＲを行うとともに、委託業務に係る前払金制度未導入の市町村に導入を要望した。

2.3 測量競技会の後援

月　日　平成30年６月13日
場　所　県立安城農林高校（６校６チーム参加）

2.4 地図教室（測量の日記念行事）の実施

尾張旭市立瑞鳳小学校(６/８)、常滑市立三和小学校(９/20)、豊川市立一宮南部小学校(９/27)の３校で４年生を対象に地図教室や測量体験実習を実施した。

2.5 災害等緊急時における連絡模擬訓練

(1)平成30年８月29日、名古屋市との災害協定に基づき、一般社団法人名古屋市測量設計業協会と合同で実施される、名古屋市緑政土木局主催の実地訓練に参加した。
(2)平成30年９月５日、愛知県との災害協定に基づき災害等緊急時における連絡訓練を実施した。
未明に県内広域で大規模地震が発生したとの想定の下、会長を本部長とする災害対策本部を設置し、情報伝達、出動可能な技術者数の把握などの訓練を実施した。

2.6 シビルエンジニアＡ・Ⅰの開催

月　日　平成30年10月５日（予定）
場　所　愛知県東三河建設事務所

2.7 関係団体との連携

(1)愛知県土地家屋調査士会総会に出席（５/25）
(2)愛知県土木施工管理技士会総会に出席（６/７）

総務委員会報告

委 員 長　久松　　顕
副委員長　松岡　　隆

総務委員会は、主に会員皆様の資質向上と受注の増大を目的とした活動を担当しています。

１．愛知県建設部との定例勉強会

日　時：平成29年10月12日
場　所：ウィルあいち
出席者　愛知県建設部建設企画課長
　　中尾　恭啓 様始め　23名
　　協会　今村会長始め　16名

愛知県建設部本庁及び各建設事務所の代表をお迎えし、県行政の方針、測量設計業者への要望等をお聞きした。また、協会側からは協会員の受注機会の拡大要望はじめ、委託業務遂行上の疑問点や改善点などについて幅広く意見交換を行った。

２．全員研修会の開催

月　日：平成29年11 月6日
場　所：ウィルあいち（参加者　48社56名）
テーマ：29年度上半期の協会活動と新工法の紹介
　　「ＩＰＨシステム(内圧充填接合補強)」
　　講師　中日建設㈱専務取締役
　　高木賢一朗 様
　　「防災・減災の地山補強土 (PAN WALL) 工法」
　　講師　PAN WALL工法協会　吉金 正益 様

３．コンプライアンス講習会（５団体共催）

月　日：平成29年11月13日
場　所：ホテル名古屋ガーデンパレス
　　参加者51社　105名(全体273名)
講　演：「独占禁止法と公正取引委員会」
　　講師　公正取引委員会事務総局中部事務所
　　経済取引指導官　樋田 高文 様
　　「下請法の運用基準について」
　　講師　公正取引委員会事務総局中部事務所
　　下請課長　齋藤 誠誉 様
「公務員倫理について
　(受発注者間のコンプライアンス保持)」
　　講師　国土交通省中部地方整備局
　　適正業務管理官　置田 裕巳 様

４．賀詞交歓会

月　日：平成30年1月12日
場　所：ホテル名古屋ガーデンパレス

知事、建設部長始め県建設部幹部の方々や顧問の先生方をお迎えして、総勢180余名が参加し盛大に新年を祝い、交流を深めた。

５．営業研修会

月　日：平成30年2月16日
場　所：長島温泉ガーデンホテルオリーブ
　　（参加者39社60名）
講演会：「下請法について」及び「平成29年度受注経営状況の報告」
　　講師　総務副委員長　　永草 新吾
　　「ＢＣＰ(事業継続計画)について」
　　講師　危機管理副委員長　早川 正喜

６．若手経営部会

日　時：平成30年2月14日
場　所：石川県政記念　しいのき迎賓館
出席者　石川県測量設計業協会
　　次世代研修委員会　7名
　　協会　若手経営部会　　6名

若手経営者及び次世代の経営に携わる会員を中心に部会を設立した。石川県測量設計業協会とは危機管理委員会とBCPにおける連携を始めたことをきっかけに交流を始め、同じ境遇である次世代研修委員会と意見交換会を実施した。

意見交換会では、「人材確保・育成について」と「今後の測量設計業について」をテーマとし、活発な意見交換を行った。今後も継続的な交流を行い、情報交換に努めていきたい。

おわりに

今年度から愛測会を再開致しますし、会員相互の親睦を深める行事も検討しております。

協会に対するご意見、ご希望等ございましたら、事務局までご連絡頂きたく存じます。皆様の暖かいご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

広報委員会報告

委 員 長　永草　新吾
副委員長　西出　剛大
副委員長　森　　康彰

広報委員会の役割は、県民の皆様にインフラ整備の必要性をご理解いただくパフォーマンスと、私共の技術力と行動力を発注者の皆様方に認識していただくパフォーマンスと心得ています。

また会員各社に技術力向上、マネジメント力向上の講習会等をご案内していくことも役割の一つと考えております。

私共、広報委員会での活動は、大きく二つ（要望活動、・機関誌「方位」）あり、これらの実績についてご報告いたします。

１．要望活動

５月末に、日頃お世話になっております発注者の皆様方に、（一社）愛知県測量設計業協会の全会員を25班に編成し、一斉に要望活動を行いました。

また、今年度は受注企業の経営安定と資金繰り改善のため、前金払制度の採用についての要望活動も併せて行いました。

〈要望書抜粋〉

協会員企業は、甚大な被害を及ぼす南海トラフ巨大地震を想定し、常日頃から測量設計の技術研讃に努め、災害発生時における協会員企業間の情報共有、災害支援体制を整備できるよう努めております。

しかし、今それらに対応する人材が著しく不足しており、このままでは、今後ますますこの傾向が強まっていく事が懸念されます。

このような状況の中で、地域の安全・安心を守るという私ども測量設計業の役割は大変重いものであり、将来に亘ってその役割を果たすため、地元企業が元気に活躍できる環境整備が重要であります。加えて、緊急事態対応のためにも企業が適正な利潤を基に、経営基盤を安定させ、将来的見通しをもって労働環境の改善や人材の育成に取組む事により、「夢のある産業」としてその魅力を高め、将来に亘ってその担い手を継続的に確保するという好循環を形成しなければなりません。

是非、事業量の経常的な増額と確保をお願いすると共に地元企業を育成するためにも「地元で出来る事は地元で・・・の認識と強い意志」へご配慮をよろしくお願い申し上げます。

２．機関誌「方位」

県民の皆様、官庁の皆様、学生の皆様が知りたい、知っておきたい情報は何かと毎年熟慮に、熟慮し検討しておりますが、今回は「働き方改革」への取り組みについて特集を組みました。

６月、国会で働き方改革関連法案が可決成立し、我々の職場においても多様な働き方、時間短縮等に取り組む時代を迎えることになりました。

特集では、国や県の取り組み状況をはじめ、会員企業の取り組みについても紹介しています。

公益事業への取り組みの中では､国土地理院中部地方測量部との協働による「測量の日」の関連事業として、全国農業高校の測量競技会への参加校を決める愛知県大会での競技支援（測量甲子園）をはじめ、県内小学校児童を対象に関催している「地図教室」を紹介しています。

協会トピックスでは、当協会のホームページリニューアルについて紹介しています。今後、協会の情報発信の場として、また、広報活動の一環として運用してまいりますので活用ください。

学生や転職入職者向けには、会員企業の新入社員（入社３年迄）及び若手・中堅技術者からの投稿を掲載しています。

今後も、「方位」を読んでいただく関係各位からのご意見･要望等をしっかりとリサーチし、内容をさらに充実させ皆様のニーズに応えていけるよう努力してまいる所存ですので、何卒、ご支援・ご協力お願い申し上げます。

測量委員会報告

委 員 長　中西喜久雄
副委員長　川﨑　敏昭
副委員長　吉本　三広

測量委員会は、測量技術の向上と改善のため関係機関と調整を図り、各種研修会への講師派遣や将来の測量技術者育成のための活動を行っております。

１．測量研修会

県及び市町職員の測量知識の研鑽と実務体験を目的に、講師の若返りも図りつつ県内３ヶ所の建設事務所と市に講師を派遣し研修会を実施しました。

【カリキュラム】

「測量概論、最新の測量技術」の講義
「ＴＳ測量」の講義及び実習

【開催概要】

平成29年10月18日　豊田市役所
（実習のみ：水準測量）
平成29年10月23日　一宮建設事務所
平成29年11月７日　豊田加茂建設事務所
平成29年11月８日　新城設楽建設事務所
平成29年11月16日　豊橋市役所
参加者計　110名

研修風景

２．特殊車両通行許可申請審査業務研修会

県及び市町職員を対象に研修会が実施され、愛知県建設部道路維持課より依頼を受け協会より講師を派遣しました。

【カリキュラム】

特殊車両通行許可制度の概要について（県職員担当）
特殊車両通行許可申請審査事務について（協会担当）
特殊車両通行許可申請審査演習（協会担当）
道路情報便覧の収録について（協会担当）

【開催概要】

尾張地区：平成30年４月16日愛知県自治研修所
三河地区：平成30年４月18日西三河総合庁舎
参加者計　96名

研修風景

３．愛知県学校農業クラブ連盟測量競技会支援

連盟からの要請により協会会員企業９社15名の参加をいただき、競技会の審査や測量機器の実体験など、平成30年度測量競技会を支援しました。

【開催日、場所】

平成30年６月13日　愛知県立安城農林高等学校

競技会の結果など活動の詳細については、「公益事業への取り組み」のページをご覧下さい。

４．小学校での地図教室

「測量の日」関連事業として、愛知県内３校の小学校を対象に、国土地理院中部地方測量部と合同で「地図教室と測量体験」を実施しました。

【開催日、場所】

平成30年６月８日　尾張旭市立瑞鳳小学校
平成30年９月20日　常滑市立三和小学校
平成30年９月27日　豊川市立一宮南部小学校

詳細については、「公益事業への取り組み」のページをご覧下さい。

上記活動以外にも、測量無料相談への対応、愛知県研修会への講師派遣、地理空間情報産学官中部地区連携協議会への参加などの活動を行っています。

各活動の実施にあたっては、多数の会員企業の皆様にご協力をいただきました。紙面をお借りし感謝申し上げます。

建設コンサルタンツ委員会報告

委 員 長　岩田　敏彦
副委員長　石堂　公彦

建設コンサルタンツ委員会では、コミュニケーションの方法から専門技術の習得までを行い、愛知県(Aichi)で社会資本（Infrastructure）整備に携わっている愛知県測量設計業協会会員の技術力向上及び地域貢献への支援を目的として、「３つのＡ・Ｉ活動」の内の以下の２つを展開している。

１.『アソシエーションＡ・Ｉ』

（愛知県の社会資本整備を考える現場研修会）

「各土木研究会」と「愛測協」の共催で発注者である県建設事務所のご協力のもと、立場の異なる三者が、会員の設計担当した現場を、現地で研修をして、その後屋内にて技術的な意見交換を行なった。

■研修日時：平成29年12月８日（金）13:30～17:00
■研修場所：「旧桃花台線の上下部工撤去工事」
　　：「小牧勤労センター大研修室」
■参加者：愛知県尾張建設事務所山口所長始め13名、
　尾北建設協会42名、愛測協25名　計80名
■概要

中央自動車道に近接する中央公園内遊歩道に架かる旧桃花台線の上下部工撤去工事であり、重要施設に近接かつ狭隘カ所の撤去工事という特殊な条件下での設計・施工を現場で確認した。これからの社会資本整備（維持管理・老朽化対策）に携わる我々にとって大変有意義なものであった。

２.『シビルエンジニアＡ・Ｉ』

（コミュニケーション向上を目指す意見交換会）

受発注者が日常業務について意見交換し、円滑な業務の遂行を図ることを目指して開催した。

■日時：平成29年９月29日(金)13:30～16:00
■場所：愛知県西三河建設事務所　701会議室
■参加者：愛知県建設企画課２名、西三河建設事務所
　山田所長始め11名、愛測協21名　計34名
■概要

コミュニケーションによる受発注者間の更なる信頼関係構築を目指し、意見交換を行なった。

３グループに分けて活発に意見交換を行い、各グループのコーディネーターによる報告の後、林企画調整監から講評を頂き閉会した。

３.今後の活動予定

3.1 アソシエーションＡ・Ｉ現場研修会

今年度は建設事務所及び土木研究会との調整がつかず、残念なことに開催中止となった。

但し、既に一宮建設事務所等と調整し来年度の開催は手配がついている。

3.2 シビルエンジニアＡ・Ｉ意見交換会

今年度の意見交換会は、東三河建設事務所で開催する予定である。

■日　時：未定（９月末～10月初を予定）
■場　所：東三河建設事務所
■題　議　①コミュニケーションで留意すること
　②業務遂行で工夫していること
　③建設分野において最近関心のあること
■参加者：建設企画課、東三河建設事務所技術職員
　愛測協会員担当者他

3.3 SWOT 分析による協会活動検討

今年度はアソシエーションＡ・Ｉが中止となり、替わりに委員会活動のあり方を顧みる予定である。

SWOT分析は、外部環境を①機会（Opportunity）、②脅威（Threat）、組織の内部環境を③強み（Strength）、弱み（Weakness）から分析して、経営戦略の立案に役立てるフレームワークであり、このツールを愛測協に適用し、現在ある委員会活動の検証や会員各社の能力UPに繋げたい。

以下のフローで進めるものとする。

１.当協会の経営資源・ケイパビリティの評価
　Capability：組織が持つ固有の能力
２.外的環境のプラス要因（機会）・マイナス要因
　（脅威）の特定
３.内的環境のプラス要因（強み）・マイナス要因
　（弱み）の特定
４.クロスSWOT分析による戦略オプションの検討
５.アクションプランの立案

危機管理委員会報告

委 員 長　牧村　直樹
副委員長　早川　正喜
副委員長　山本　成竜

1. はじめに

平成28年度に新設された「危機管理委員会」を引き継ぎ、さらに協会並びに会員の危機管理体制を強化する活動をしています。委員会のテーマを“危機管理体制の整備とBCMの確立～動きながら考える～”とし、委員会を二つの部会、タイムライン部会（主に対外関連）とBCP部会（主に協会内関連）に分けて活動を進めています。以下に、その二つの部会の活動実績を報告いたします。

2. 主な活動内容

2.1　タイムライン部会

“ステークホルダーとの連携”を目指して、各測協及び他団体との意見交換を図りました。

（1）大分県測協との意見交換会（第２回）

日時場所　平成29年５月12日（金）大分市

参加者　愛測協／正副会長・正副委員長等、大分測協／総務、BCP・WG委員長等

議題　「会員BCP普及の推進」「協会BCPの作成」「災害対応力の向上」「大規模災害時の相互支援協力に関する覚書」

（2）建コン協中部支部と災害対応に関する意見交換会

日時場所　平成29年６月19日（月）支部事務局

参加者　愛測協／危機管理委員会正副委員長、建コン協／災害対策委員会正副委員長等

議題　地震災害時の対応について「両協会の取組み経緯」「今後のあり方」

（3）岡山県測協のBCP講習会に委員を派遣

日時場所　平成29年９月４日（月）岡山市

講師　危機管理委副委員長（早川、山本）

議題　「愛知県測協のBCPへの取り組み」

（4）石川県測協との意見交換会

日時場所　平成29年10月13日（金）愛測協事務局

参加者　愛測協／正副会長・正副委員長等、石川測協／正副会長・緊急対策委員長等

議題　「会員・協会BCPの作成」「災害対応力の向上」「大規模災害時の相互支援協力に関する覚書」

2.2　BCP 部会

（1）協会BCPの公表・説明

平成29年４月に「協会BCP」の公表を行ない、会員への周知として地区別正副幹事会社説明会を開催しました。

日時場所　平成29年６月14日（水）愛測協事務局

参加者　９地区正副幹事会社及び危機管理委員

議題　「協会BCPの概要説明と運用の課題」

（2）災害連絡訓練

訓練のリアリティを目指した災害緊急時連絡訓練を行いました。

日時場所　平成29年９月７日（木）愛測協事務局

協力　愛知県建設企画課、９建設事務所、２港務所

（3）企業防災カルテの公表

企業防災カルテ（豊田市のカルテを一部修正）により企業の防災力評価を行ない、毎年の対応成果を“見える化”します。人・物・金・情報の４つの経営資源に分け数値化し、レーダーチャートのグラフが整形かつ大きいほど企業防災力が高く理想的な形と言えます。

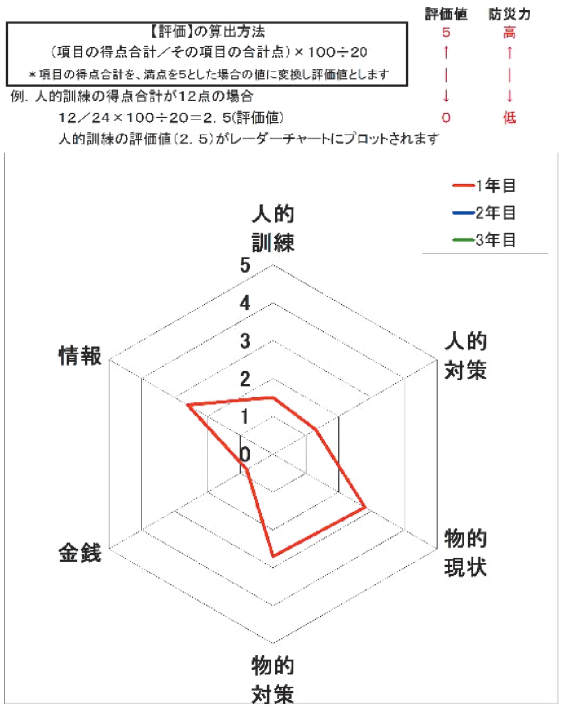


図1　防災カルテ

（4）BCPに関するアンケート調査の実施

会員のBCP策定状況等を把握するため、H30.1～２にかけてアンケート調査を行いました。

アンケート結果（全会員91社）：策定済み55社（60%）、未策定26社（29%）、未回答10社（11%）

以上

会員紹介（サ行）

株式会社 サンキ

1.会社概要

所在地：〒456-0032
　　名古屋市熱田区三本松町６番５号
ＴＥＬ：052-884-2555　ＦＡＸ：052-882-8001
創　業：昭和49年５月８日
代表者：代表取締役　安藤　健一郎
従業員：61名

図1　設立40周年記念祝賀会

2.事業内容

○一般測量
　・基準点測量　・応用測量　・海洋測量
○工事測量
　・起工測量　・出来形測量　・施工測量
○三次元測量
　・地上型３Ｄレーザー測量　・空中写真測量
○登　　記
○施工管理技術者派遣

3.沿革

昭和49年５月
三企測量登記事務所創業
昭和52年11月
三企測量設計株式会社設立
昭和52年11月
株式会社サンキに商号変更
平成７年　４月
資本金1000万に増額
平成13年２月
本社ビル完成

図2　本社ビル全景

4.我社の特徴

測量の専門会社として40年の実績を誇る当社は、ゼネコン関連業務を主に国家プロジェクト等の建設に多く携わっています。一般的な測量会社は官公庁発注業務主体の受注活動を行っているのに対し、当社は売上げの90%が民間受注によるものです。豊富な経験と高品質な測量技術が評価され、ゼネコンからの測量依頼が業界でいち早く寄せられています。

また、多種多様なお客様のニーズに応えるため、最新機器の導入を積極的に行っています。オートジャイロステーションや深浅測量システム、地上型３Ｄレーザースキャナー、UAV(小型無人航空機)等を揃え、社員ひとりひとりが専門知識と技術を身につけることにより、短時間で高精度な成果品の提供を実現しています。

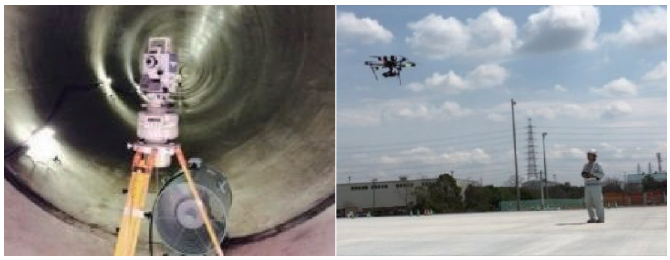


図3　最新機器での観測状況

5.三次元計測・設計

三次元計測業務では、対象物を三次元座標化することで、現場での調査時間を最小限に抑えます。地形や構造物位置の把握、土量計算、縦横断計算等を効率よく行えます。

また近年では、i-Construction業務にも尽力しており、現地の計測はもちろん、設計モデルの作成、出来高算出、出来形評価までを担っています。

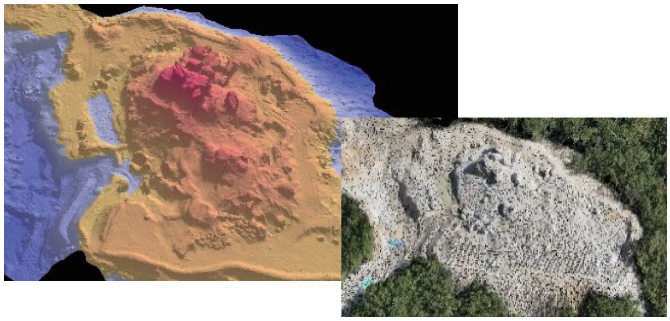


図4　空中写真測量によって取得した3D モデル

～ 測ることで社会に貢献 ～

三協調査設計株式会社

本　　社　名古屋市中区大井町４番14号
〒460-0015　TEL<052>331-5371（代表）
FAX<052>331-8619
http://www.sankyocon.co.jp

道路や建物づくりに欠かせない「測量」を中心に、弊社は昭和34年に設立いたしました。

私たちは常にお客様の要望に正確なデータを、送り続け「夢ある未来」のために、微力ながら環境づくりに貢献してまいりました。

このことが、みなさまからの信頼される堅実な企業としての姿勢となり、数多くの実績を積み重ねる結果となりました。

近年世界的規模で”地球にやさしく”と叫ばれるように、美しい自然との融合を念頭に、測る仕事の「その先」を見据えた、トータル業務にも力を注いでいます。

新しい時代の新しい快適のために、私たちはこれからも確かなフィールドワークの基本を大切に誠心誠意努めてまいります。

また21世紀に、ISO9001の認証も頂き、当社として新たな第一歩を歩んでおり、「社会的に高い評価」を得るように努力を惜しまないように致します。

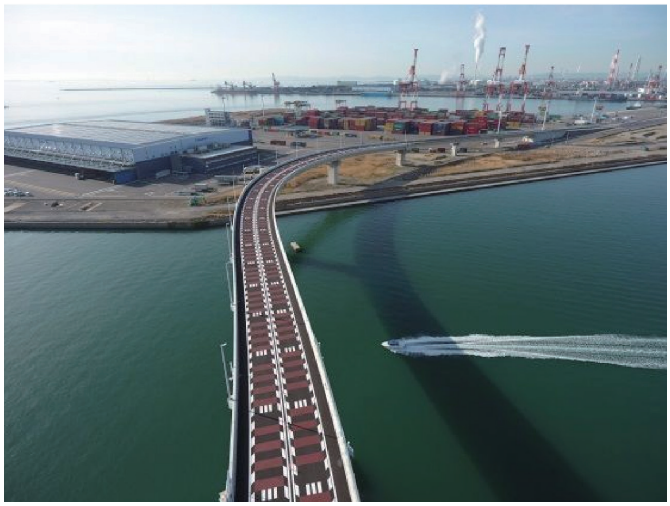
今後とも弊社に、あたたかいご支援ご鞭撻を賜りますよう お願い申し上げます。

【 取組み 】

価値観の多様化、技術の発達などの社会の急激な変化の下で、社会の求める「測量」の適用範囲は拡大しています。弊社でも、新たなる測量技術取得に邁進して取組んでおります。

UAV

様々な講習会に参加し技術を磨き、“空中写真”や“出来形計測”など様々な仕事に繋げております。



道路工事の完成写真

3D測量

近年の機器の向上により、精度を保ちながら早く安全にくまなく計測できる3D測量によって、様々な計画への対応が可能となりました。

公園の現況調査

そして、上記の技術を使用し国が推し進めるi-Constructionを導入することで生産性向上・工期短縮に努めております。

今後も常に社会のニーズを先取りし、社会的に高い評価を得る成果品作成を目指します。

柴山コンサルタント株式会社

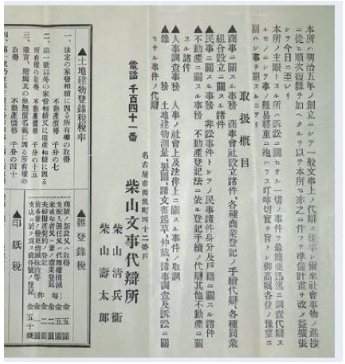
1.会社概要

所在地：名古屋市東区白壁一丁目69番地
ＴＥＬ：052-961-1211
ＵＲＬ：https://www.shibayama-consul.co.jp/
従業員：75名
創　立：明治５年
代表者：代表取締役　加藤　銑彦
登　録：建設コンサルタント業、測量業、
　　補償コンサルタント業、一級建築士事務所
支　店：名古屋駅前支店（大名古屋ビルヂング）
　　東三河支店（豊川市）
　　東京支店（東京都千代田区）

当社は明治５年、柴山文事代辯所として創立以来、借家の管理、測量、土地鑑定等の業務を行ってきました。戦争等幾多の激変を社員の奮闘により耐え、くぐりぬけて以後、建築設計・土木設計・測量・補償調査等の部門からなる総合建設コンサルタント企業として充実をはかることができました。

これもひとえに、お取引先の皆様方の変わらぬご愛顧のおかげと感謝致しております。

当社は、柴山コンサルタントグループ共々「人間と自然と都市との調和」を基本理念として、理想的な空間作りを目指します。また、創立より140年以上に渡って受け継がれてきた「迅速正確」を心がけて業務を行い、引き続き若手技術者の育成と社内体制の充実に努め、新たな価値作りと創造性の追及により、今後も一層躍進してまいります。


電話　千百四十一番
柴山文事代辯所
柴山　清兵衛
柴山　壽太郎

国文学研究資料館　所蔵文献

2.不動産に関するワンストップサービスを実現

柴山コンサルタントグループでは、当社のほかに不動産仲介、税理士業務、司法書士業務、土地家屋調査士業務を行う各法人を展開しており、グループ全体の社員数は約140名、そのうち約30名が女性です。

これらの法人が有機的につながることで不動産に関するワンストップサービスを実現し、お客様のニーズに迅速、柔軟に応えています。他では経験のできない大規模な現場に携わることができるのも当社ならではの魅力です。

グループ会社のほとんどが本社ビルに結集していることから、各部門が連携して業務を行う必要がある際や、専門外で困った問題等が出た時でも部門ごとにスペシャリストを抱えているためスムーズに進めることができます。

忘年会における優秀社員表彰

3.働き方改革を実践

当社では働き方改革として、業務効率化、残業時間削減に取り組んでいます。

オンオフの切り替えをしっかり行い、休日にリフレッシュした上で日々の業務を行っています。

本社外観

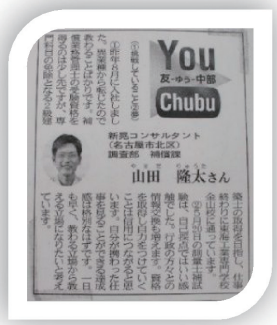
自然と人、社会の調和　確かな技術で未来に繋げる

新晃コンサルタント　株式会社

環境や人に「優」しい「仕」ごとがしたい、暮らしの根幹を支える建物やライフラインを創るために欠かせない「測量」「設計」で社会に貢献したい、その思いで昭和43年11月の創業から年輪を重ねてまいりました。今年で50年目を迎え更に成長を続け、未来に咲かせるであろう「花」、未来に生るであろう「果実」を多くの方々と分かち合える企業市民となれるよう努力していきたいと思っております。

そのためにも日々技術の研鑽と成果の向上を目標に、前進すべき道を社員一人一人が考え、「測量」「設計」のプロフェッショナルとして地域住民のより良い生活創りに役立てることが不可欠だと考えます。

「人」が「材」にとどまらず「財」となれるよう社内において競争力を磨ける環境づくりに取り組んでおります。競争力とは単純に「生産性」「コストダウン」といったことではなく「もっと技術を身に着けたい」「もっと社会に役立ちたい」という情熱を持ち、日々改善し前進し続けることなのです。



建通新聞掲載（H30.5.31）
仕事終わりに専門学校に通う
社員をバックアップ

当社ではスキルアップに繋がる学習、資格取得に関し全面バックアップを行っております。掛かる費用をバックアップ、担当業務をバックアップ、受講手続き・登録申請等のバックアップ、進んで学ぶ姿勢に対してストレスフリーを目指しております。そして待遇へのバックアップ、資格一つ一つに手当を設定しリストアップしているので目標が立てやすくなっています。

自らが成長し続けることは、関わる全ての方々とも良好な関係を築くうえで大切です。チームとしてコミュニケーションを図るため年に数回、親睦会やゴルフコンペ、現場見学会を開催しております。

また地域の方々や社会に対しても自分たちの思いを発信しています。「相手の立場に立つ」「思いやりを持つ」「助け合う」、置かれている状況は個々に異なりますが、常に気持ちを持ち合わせることでやがては大きな力になります。

神ノ郷トンネル工事見学会

「一人では何もできないけど一人ができることをしよう」そんな思いから平成18年から庄内川アダプト活動をスタートさせました。

アダプトとは河川環境を守るためのボランティア活動です。年に２回の庄内川味鋺観測所付近のゴミ拾い、春と秋に開催される庄内川クリーン大作戦に参加しております。これらは自主参加の体制をとっているので自然と協調の輪が広がり、力を合わせることの大切さが目覚めていきます。この他にも堀川調査隊、なごやエコ事業所にも登録しています。

少年野球チームとアダプト活動

当社では「一般測量」「用地測量」「補償調査」「土木設計」「開発設計」が機能しており、それぞれの情報を共有し、力を結集し、生まれる総合力で業務を推進します。新たな技術の開発、改善、最新機器の導入を全員で検討し精査する。「もっといい技術を」「もっと役立つ技術を」、一人一人がこの情熱を持ち続けることで重ねた年輪はやがて大樹となり、人の暮らしの拠り所となる、それが私達の使命です。

〒462-0853
名古屋市北区志賀本通二丁目46番地
TEL　052-911-1286　FAX　052-914-5553
https://www.shinko-c.com/
代表取締役　鈴木　善晴

紹介

顧問紹介（敬称略）

名誉顧問

倉　知　俊　彦・（くらち　としひこ）

前愛知県議会議員　平成10年11月 顧問就任

■略歴　昭和６年生

昭和25年３月	愛知県立豊田西高等学校卒業
昭和46年４月	愛知県議会議員当選
昭和57年４月	自由民主党 愛知県議団幹事長
昭和62年５月	愛知県議会議長
平成２年７月	自由民主党 愛知県支部連合会幹事長
平成９年５月	愛知県議会 首都機能移転・地方分権調査特別委員会委員長
平成13年５月	愛知県議会 国際博覧会特別委員会委員長
平成15年12月	自由民主党 愛知県支部連合会会長
平成18年５月	愛知県議会 地方分権・道州制調査特別委員会委員長
平成25年１月	自由民主党 愛知県支部連合会会長代理
平成25年５月	愛知県議会 議員定数等調査特別委員会委員長
平成27年４月	愛知県議会議員を勇退

顧問団長

久保田　浩　文・（くぼた　ひろふみ）

愛知県議会議員（稲沢市選出、当選６回）平成23年５月 顧問就任

■略歴　昭和28年生

昭和50年３月	日本大学経済学部卒業
平成７年４月	愛知県議会議員当選
平成13年５月	愛知県議会 企画環境委員会委員長
平成19年５月	愛知県議会 議会運営委員会委員長
平成20年５月	愛知県 監査委員
平成21年10月	自由民主党 愛知県支部連合会組織委員長
平成22年５月	自由民主党 愛知県支部連合会副会長
平成25年５月	愛知県議会 議長
平成26年６月	自由民主党 愛知県支部連合会幹事長
平成27年５月	愛知県議会 中京大都市圏形成調査委員会委員長
平成29年５月	愛知県議会 安全・安心対策特別委員会委員長

顧　問

鈴　木　孝　昌・（すずき　たかまさ）

愛知県議会議員（豊橋市選出、当選５回）平成23年５月 顧問就任

■略歴　昭和19年生

昭和45年３月	日本大学工学部卒業
平成11年４月	愛知県議会議員当選
平成16年５月	愛知県議会 健康福祉委員会委員長
平成19年５月	自由民主党 愛知県支部連合会政調会副会長
平成21年５月	愛知県議会 副議長
平成23年５月	自由民主党 愛知県議会議員団長
平成24年５月	愛知県 監査委員
平成26年５月	愛知県議会 議会運営委員会委員長
平成27年５月	愛知県議会 文化スポーツ観光振興対策委員会委員長
平成28年５月	愛知県議会 議長

顧　問

杉　浦　孝　成・(すぎうら　たかしげ)

愛知県議会議員（高浜市選出、当選４回）平成27年５月 顧問就任

■略歴　昭和23年生

昭和41年３月	県立刈谷商業家庭高等学校卒業
平成15年４月	愛知県議会議員当選
平成19年５月	愛知県議会 警察委員会委員長
平成20年５月	愛知県議会 少子高齢化・人づくり対策特別委員会副委員長
平成21年５月	愛知県議会 地域振興環境委員会副委員長
平成23年５月	愛知県議会 地域振興環境委員会委員長
平成27年５月	愛知県議会 副議長
平成29年５月	愛知県議会 議会運営委員会委員長

顧　問

佐　藤　一　志・(さとう　かずし)

愛知県議会議員（知多市選出、当選２回）平成27年５月 顧問就任

■略歴　昭和28年生

昭和45年３月	流通経済大学卒業
平成23年４月	愛知県議会議員当選
平成27年５月	愛知県議会 健康福祉委員会委員長
平成30年５月	愛知県議会 総務県民委員会副委員長

役　員　名　簿

（一社）愛知県測量設計業協会

名誉顧問	倉　知　俊　彦	前愛知県議会議員
顧問団長	久保田　浩　文	愛知県議会議員
顧　問	鈴　木　孝　昌	愛知県議会議員
〃	杉　浦　孝　成	愛知県議会議員
〃	佐　藤　一　志	愛知県議会議員
相談役	二　村　貴　和	㈱名邦テクノ
会　長	今　村　鐘　年	中部復建㈱
副会長	青　木　拓　生	㈱拓工
〃	梶　川　　洋	㈱梶川土木コンサルタント
理　事	久　松　　顕	久松測量設計㈱
〃	永　草　新　吾	㈱中部テック
〃	中　西　喜久雄	㈱葵設計事務所
〃	岩　田　敏　彦	中日本建設コンサルタント㈱
〃	牧　村　直　樹	玉野総合コンサルタント㈱
〃	松　岡　　隆	㈱葵エンジニアリング
〃	西　出　剛　大	㈱大増コンサルタンツ
〃	森　　康　彰	㈱アイエスシイ
〃	吉　本　三　広	㈱石田技術コンサルタンツ
〃	川　﨑　敏　昭	㈱カナエジオマチックス
〃	石　堂　公　彦	㈱新日
〃	早　川　正　喜	早川都市計画㈱
〃	山　本　成　竜	㈱愛河調査設計
監　事	藤　本　博　史	中央コンサルタンツ㈱
〃	長谷川　英　輝	公認会計士･税理士 (北斗中央税理士法人)
事務局長	中　村　孝　雄	(一社) 愛知県測量設計業協会

［委員会］

総　務　委　員　会

① 法人の管理運営
② 入退会及び表彰
③ 独禁法の遵守及び相談
④ 測量設計業務の実態調査及び解析
⑤ 会員の資質向上に関する研修会の開催
⑥ その他、他の委員会に属さない事項

委員長	久　松　　顕	委　員	川　口　英　朗
副委員長	松　岡　　隆	〃	伊　藤　俊　行
委　員	酒　井　　誠	〃	坂　野　晃　嗣
〃	永　田　行　活	〃	岩　木　利　志
〃	浜　田　哲　也	〃	宇　佐　美　明
〃	髙　木　喜　一	担当副会長	梶　川　　洋
〃	加　納　　弘		

広　報　委　員　会

① 発注機関への要望活動
② 機関紙「方位」の発刊
③ 協会・測量設計業の啓蒙啓発
④ その他広報に関する事項

委員長	永　草　新　吾	委　員	山　本　章　好
副委員長	西　出　剛　大	〃	川　　澄　　功
〃	森　　康　彰	〃	加　藤　健　司
委　員	伊　藤　　悟	担当副会長	梶　川　　洋
〃	香　村　信　男		
〃	碓　井　　稔		
〃	須　藤　一　彦		

測　量　委　員　会

① 測量技術（地理空間情報等）の研鑽
② 研修会及び講師派遣（国・県・市町村等）
③ 測量設計無料相談（一般県民等）
④ 「測量の日」（国土地理院）記念事業の実施
⑤ その他測量（用地業務含む）に関する事項

委員長	中西喜久雄	委　員	鈴　木　善　晴
副委員長	川　﨑　敏　昭	〃	河　村　利　由　紀
〃	吉　本　三　広	〃	浅　　野　　強
委　員	柴　田　修　身	〃	太　田　和　哉
〃	伊　藤　　宏	〃	早　川　友　幸
〃	中　村　竜　平	〃	大　西　俊　次
〃	飯　谷　哲　矢	担当副会長	青　木　拓　生
〃	碓　井　　稔		

建設コンサルタンツ委員会

① 建設コンサルタント業務の技術の向上・改善
② 事業領域の拡大・研究
③ 会員の技術向上に関する研修会
④ その他建設コンサルタンツに関する事項

委員長	岩　田　敏　彦	委　員	山　田　雅　登
副委員長	石　堂　公　彦	〃	安　井　　睦
委　員	伊　藤　寿　浩	担当副会長	青　木　拓　生
〃	山　田　秀　穂		
〃	伊勢野　暁　彦		
〃	國　島　正　彦		
〃	廣　田　保　雄		

危機管理委員会

① 災害等緊急時体制の整備・充実
② 災害等緊急時における技術支援
③ 協会・会員のBCP作成・支援

委員長	牧　村　直　樹	委　員	濱　田　常　雄
副委員長	早　川　正　喜	〃	武　井　泰　彦
〃	山　本　成　竜	〃	前　田　勝　美
委　員	岸　本　悦　典	〃	伊　藤　　悟
〃	河　　正　根	担当副会長	青　木　拓　生
〃	大　宮　正　浩	〃	梶　川　　洋
〃	酒　井　泰　明		

会員名簿一覧

平成30年９月現在

正会員

会　社　名	代表者名	郵便番号	住　　所	E-mail	TEL
㈱アイエスシイ	森　　富雄	466-0059	名古屋市昭和区福江2-9-33	general@isc-ngo.co.jp	052-882-1201
㈱愛河調査設計	山本　成竜	457-0074	名古屋市南区本地通6-8-1	asso@aiga-cc.co.jp	052-819-6508
愛徳コンサルタント㈱	田中　康則	470-0342	豊田市大清水町大清水38-10	aitoku-c@woody.ocn.ne.jp	0565-45-5557
㈱愛龍設計事務所	小栗　金夫	470-0373	豊田市四郷町森前2-2	airyu@hm6.aitai.ne.jp	0565-45-2935
㈱葵エンジニアリング	漆戸　　要	453-0018	名古屋市中村区佐古前町22-6	iso@aoi-eng.co.jp	052-486-2200
あおい建設コンサルタント㈱	濵崎　将志	461-0005	名古屋市東区東桜2-3-7	aoi@japan-net.ne.jp	052-933-2091
葵コンサルタント㈱	中川　恵子	444-2118	岡崎市河原町13-2	soumu@aoi-con.co.jp	0564-22-7058
㈱葵設計事務所	中西喜久雄	440-0085	豊橋市下地町2-51	soumu@aoi-sekkei.jp	0532-55-5263
㈱アクセス	赤松　光昭	448-0013	刈谷市恩田町1-159-1	access_survey@katch.ne.jp	0566-23-8667
㈱朝日設計事務所	朝日　　烈	465-0024	名古屋市名東区本郷3-118	soumu@asahisekkeijimusho.co.jp	052-774-7181
㈲旭測量事務所	金子　郁男	440-0851	豊橋市前田南町1-4-12	surveyor@cello.ocn.ne.jp	0532-54-5934
㈱旭調査	村瀬　伸吾	468-0052	名古屋市天白区井口1-2017	asahi@asahi-c.co.jp	052-838-7721
㈱あづま	柴田　修身	440-0026	豊橋市多米西町1-20-9	aduma@631255.jp	0532-63-1255
アマノコンサルタント㈱	天野　隆俊	444-2131	岡崎市青木町22-5	info@amano-c.com	0564-45-2445
アローコンサルタント㈱	伊藤　寿浩	456-0018	名古屋市熱田区新尾頭2-2-32　勢州館金山ﾋﾞﾙ内	soumu@arrow-c.co.jp	052-684-5684
㈱石田技術コンサルタンツ	堀　与志男	485-0028	小牧市東新町50	itcsom@itcnet.co.jp	0568-73-1085
井上測量設計㈱	佐々木康次	460-0001	名古屋市中区三の丸1-10-1　TLCMﾋﾞﾙ3階	inoue-s@uranus.dti.ne.jp	052-212-5193
㈱宇井測量設計	宇井　源悟	470-1219	豊田市畝部西町西裏19番地1	uiss@lilac.ocn.ne.jp	0565-85-0830
ＮＴＣコンサルタンツ㈱	大村　　仁	460-0003	名古屋市中区錦2-4-15　ORE錦二丁目ﾋﾞﾙ4階	eigyou.hn@ntc-c.co.jp	052-229-1701
㈱ＭＳＳ	酒井　　誠	454-0054	名古屋市中川区八剱町3-24	jimusyo@kkmss.co.jp	052-602-7715
㈱オオバ名古屋支店	市川　克己	460-0003	名古屋市中区錦1-19-24　名古屋第一ﾋﾞﾙ7階	info_na@k-ohba.co.jp	052-219-0083
㈲大場測量設計事務所	大場　孝男	444-0835	岡崎市城南町3-4-3	ohba@mikaworld.com	0564-52-8505
㈱大増コンサルタンツ	西出　剛大	454-0828	名古屋市中川区小本2-14-5	soumu@ohmasu.co.jp	052-363-1131
㈱大屋測量設計	大屋　惠雄	451-0077	名古屋市西区笹塚町2-70　鳥見ﾊﾟｰｸﾏﾝｼｮﾝ306号	ohyasv@sepia.ocn.ne.jp	052-908-0672
㈱梶川土木コンサルタント	梶川　　洋	448-0037	刈谷市高倉町4-508	info@k-cc.co.jp	0566-24-6606
㈱カナエジオマチックス	川崎　敏昭	460-0012	名古屋市中区千代田1-12-5	kanal@kanal.co.jp	052-249-9611
㈱神田設計	伊藤　　悟	451-0062	名古屋市西区花の木1-3-5	info@kanda-s.co.jp	052-522-3121
㈱協同コンサルタント	近藤　　優	458-0801	名古屋市緑区鳴海町字中汐田84-1	info-mail@kyodoconsul.com	052-624-3311
協和調査設計㈱	安藤　敦司	454-0839	名古屋市中川区篠原橋通2-44	soumu@ky-cs.co.jp	052-365-3711
㈱小嶋コンサルタント	町田　穂積	445-0073	西尾市寄住町上田34-1	kojima-j@kojima-ss.com	0563-53-5331
コムワークスエンジニアリング㈱	今枝　　晃	466-0058	名古屋市昭和区白金3-19-15	sales@com-worx.co.jp	052-884-8411
㈱酒井設計事務所	酒井　泰明	471-0827	豊田市平山町5-1	sakai@hm6.aitai.ne.jp	0565-27-1762
栄土地測量設計㈱	青山　貴洋	440-0806	豊橋市八町通4-49	info@sakaetochi.co.jp	0532-55-1230
㈱三愛設計	永田　行活	492-8144	稲沢市小池1-5-8	office@sanai-sekkei.co.jp	0587-32-8313
㈱サンキ	安藤健一郎	456-0032	名古屋市熱田区三本松町6-5	andou-k@3ki.co.jp	052-884-2555
三協調査設計㈱	浜田　哲也	460-0015	名古屋市中区大井町4-17	sohmu@sankyocon.co.jp	052-331-5371
敷島測量設計㈱	中島　正義	462-0014	名古屋市北区楠味鋺3-302	BCH10311@nifty.com	052-901-5005
設楽測量設計㈱	加藤　博俊	441-2302	北設楽郡設楽町清崎字岩井25-2	sitasoku@guitar.ocn.ne.jp	0536-62-1456
柴山コンサルタント㈱	加藤　銑彦	461-0011	名古屋市東区白壁1-69	eigyo@shibayama-consul.co.jp	052-961-0111
信栄測量設計㈱	髙木　喜一	471-0024	豊田市元城町4-28	scc@ruby.ocn.ne.jp	0565-31-1113
新栄測量設計㈱	赤石　和彦	485-0044	小牧市常普請3-124	akakiko@r3.dion.ne.jp	0568-76-1755
新晃コンサルタント㈱	鈴木　善晴	462-0853	名古屋市北区志賀本通2-46	info@shinko-c.com	052-911-1286
㈱新城測量設計	加納　　弘	441-1325	新城市字二本松10-7	sv@shinsoku.jp	0536-22-2730
㈱新日	秋山　　学	454-0011	名古屋市中川区山王1-8-28	business@shinnichi.co.jp	052-331-5356
㈱伸和	林　　清一	457-0863	名古屋市南区豊1-45-12	hayashi@kk-shinwa.com	052-692-0146
杉浦測量㈲	髙木　　清	444-0802	岡崎市美合町字西屋敷24-1	sugiuras@smile.ocn.ne.jp	0564-51-0037
㈲杉田測量設計事務所	杉田　正春	444-3502	岡崎市大幡町字東方便野22	sugisoku@m3.catvmics.ne.jp	0564-48-7511
㈱須藤事務所	須藤　一彦	471-0842	豊田市土橋町4-67	bond@sudou.net	0565-29-0281
㈱成和コンサルタント	浅野　　強	441-1375	新城市字的場15-2	seiwa1@jeans.ocn.ne.jp	0536-23-6418
双和測量設計㈱	日置　俊夫	452-0839	名古屋市西区見寄町173	SOWA2109@guitar.ocn.ne.jp	052-503-2109

紹　介

会　社　名	代表者名	郵便番号	住　　所	E-mail	TEL
太栄コンサルタンツ㈱	川口　英朗	460-0012	名古屋市中区千代田3-26-18	soumu@daiei-con.co.jp	052-332-3355
㈱大建コンサルタント	廣瀬　　博	460-0011	名古屋市中区大須4-11-17	gyoumu@daikenc.jp	052-252-5171
㈱大地コンサルタント	山本　章好	440-0026	豊橋市多米西町1-21-3	ddm@daichi-c.jp	0532-21-6649
㈱拓工	青木　拓生	456-0004	名古屋市熱田区桜田町15-22	kanri-ask@c-takko.co.jp	052-883-2711
玉野総合コンサルタント㈱	田部井伸夫	461-0005	名古屋市東区東桜2-17-14	ts-society@tamano.co.jp	052-979-9111
中央コンサルタンツ㈱	藤本　博史	451-0042	名古屋市西区那古野2-11-23	honsha-info@chuoh-c.co.jp	052-551-2541
㈱中建	岩木　利志	464-0823	名古屋市千種区松竹町1-40	chuken@k7.dion.ne.jp	052-762-1341
中部地域整備㈱	青山　茂喜	460-0002	名古屋市中区丸の内2-2-15	CRD@chance.ne.jp	052-201-2831
㈱中部テクノス	大竹日出男	465-0024	名古屋市名東区本郷2-141	eb.ngy@c-aas.co.jp	052-768-4410
㈱中部テック	永草　新吾	465-0092	名古屋市名東区社台3-48	info@chubu-tech.co.jp	052-771-1251
中部土地調査㈱	上野　英和	451-0042	名古屋市西区那古野2-26-8	c-tochi@chubutochicyousa.co.jp	052-565-1881
中部復建㈱	今村　鐘年	466-0059	名古屋市昭和区福江1-1805	eigyou@chubu-fk.co.jp	052-882-6611
司開発㈱	加藤　一弘	448-0028	刈谷市桜町1-10	info@tsukasa-kaihatsu.com	0566-23-1056
㈱つかもと	塚本　兼之	486-0927	春日井市柏井町2-59	soumu@tukamoto.co.jp	0568-31-7268
東亜測量設計㈱	亀井　幸隆	468-0064	名古屋市天白区道明町195	toua@toua-kk.com	052-832-7322
東栄測量設計㈱	松本　幸三	454-0961	名古屋市中川区戸田明正2-2210	t-soumu@touei.ecnet.jp	052-618-8760
㈱東海コンサルタンツ	中沢　真三	440-0862	豊橋市向山大池町17-11	main@tokai-con.jp	0532-53-3400
東洋測量設計㈱	松井　宗廣	462-0011	名古屋市北区五反田町81	somu@tc-toyo.co.jp	052-902-1811
中日本建設コンサルタント㈱	上田　直和	460-0003	名古屋市中区錦1-8-6　ｽﾄｰｸﾋﾞﾙ名古屋	t_iwata@nakanihon.co.jp	052-232-6032
㈲西尾測量	西尾　榮司	471-0842	豊田市土橋町5-9-3	nishio-s@hm3.aitai.ne.jp	0565-29-7124
㈱西三河都市計画	林　　孝善	444-0807	岡崎市美合西町7-3	nt-co@sk2.aitai.ne.jp	0564-63-0233
㈱日進サーベー	浅井　　立	462-0837	名古屋市北区大杉3-8-5	nissin-s@gamma.ocn.ne.jp	052-914-2678
ニチイコンサルタント㈱	早川　友幸	491-0837	一宮市多加木2-9-3	NICHII@nichii.co.jp	0586-71-8781
㈲額田測量	高橋　　有	444-2223	豊田市松平志賀町ﾏｺﾞｲﾁ10-14	nukataso@hm9.aitai.ne.jp	0565-86-1321
早川都市計画㈱	早川　正喜	471-0805	豊田市美里2-17-5	soumu@hayakawa-t.co.jp	0565-89-8068
㈱東愛知コンサルタント	宇佐美　明	441-8053	豊橋市柱二番町2-1	h_aichi@blue.ocn.ne.jp	0532-48-5665
久松測量設計㈱	久松　　顕	492-8143	稲沢市駅前4-7-11	info@hisasoku.com	0587-21-4077
富士エンジニアリング㈱	寺本　博亘	464-0067	名古屋市千種区池下1-11-21　ｻﾝｺｰﾄ池下5階	a.takeuti@fuji-eng.co.jp	052-763-1616
不地弘測量設計㈱	太田　昭彦	470-0374	豊田市伊保町上北野49-2	fujikoh-ota@nifty.com	0565-45-8336
藤コンサル㈱	藤本　桂介	450-0002	名古屋市中村区名駅3-22-8　大東海ビル	eigyo@fuji-con.co.jp	052-433-1261
フジコンサルタント㈱	加藤　健司	497-0044	海部郡蟹江町大字蟹江新田字前波226	info@fujicon-c.co.jp	0567-96-1063
㈱丸太測量設計事務所	梅村　正明	471-0024	豊田市元城町2-8-2	marutas@estate.ocn.ne.jp	0565-32-5121
㈱メイトーテック	上山　義之	455-0003	名古屋市港区辰巳町1-44	k.yoshiyuki@meito-tech.co.jp	052-654-0363
㈱名邦テクノ	山﨑　武男	457-0048	名古屋市南区大磯通6-9-2	soumu@meiho-techno.co.jp	052-823-7111
㈱名北総合技研	山田　雅登	462-0801	名古屋市北区新堀町49	eigyo@meihoku-sg.co.jp	052-981-4916
㈱横測	宮川　栄一	477-0037	東海市高横須賀町西岨14	info@aichi-yokosoku.co.jp	0562-33-1294
リード測量設計㈱	音部祥一郎	444-0113	額田郡幸田町大字菱池字東部81	lead@viola.ocn.ne.jp	0564-62-6367
若鈴コンサルタンツ㈱	吉田　伸宏	452-0822	名古屋市西区中小田井5-450	soumu@wakasuzuc.co.jp	052-501-1361

準会員

会　社　名	代表者名	郵便番号	住　　所	E-mail	TEL
㈱フジヤマ名古屋支店	山本　貴嗣	460-0002	名古屋市中区丸の内2-16-3	nagoya@con-fujiyama.com	052-218-4300
㈱ランド・コンサルタント中部支社	洞ノ口一伸	467-0862	名古屋市瑞穂区堀田通8-18　ｳｲｽﾃﾘｱ堀田201号	chubu-b.o@land-c.co.jp	052-693-6218

賛助会員

会　社　名	代表者名	郵便番号	住　　所	E-mail	TEL
中京コピー㈱	嶋津　誠司	461-0001	名古屋市東区泉3-30-3	c-net@chukyocopy.co.jp	052-931-2611
㈱東海八嶋	嶋津　誠司	456-0004	名古屋市熱田区桜田町16-3	tohachi@chukyocopy.co.jp	052-931-7135
西尾レントオール㈱中部支店	濱田　雅義	460-0003	名古屋市中区錦1-6-17　ｵﾘｼﾞﾝ錦ﾋﾞﾙ9階	masayoshi.hamada@nishio-rent.co.jp	052-203-8240
㈱日刊建設工業新聞社名古屋支社	坂川　博志	461-0001	名古屋市東区泉1-22-22　TODAﾋﾞﾙ	nagoya@decn.co.jp	052-961-2631

i-Construction 対応

1ヵ月 体験版のお申し込み
WingEarth で検索
http://wingearth.com/
弊社営業担当までお気軽にご相談ください！

大規模３次元点群高速編集ツール

Wing Earth

３次元点群を用いたワークフローを徹底追求！

豊富な入力

- 基本点群の読み込み：TXT, CSV, XYZ, ASC, PTS, LAS, PCD, LandXML, 三菱MMS
- CAD 図形や測量データ：DWG, DXF, SIMA, TXT, CSV, XYZ, ASC, メッシュ, プロット・区画結線
- 道路線形データ：SIMA, LandXML
- DEM【数値標高モデル】：XML
- LandXML：サーフェス, 設計データ, 施工管理データ交換標準

WingNeo INFINITY

強力な加工

- 点群合成
- クリップボード
- 座標変換
- 点群移動
- 物体認識操作
- 手前 / 奥物体スナップ
- グループ分け
- 削除点群復元
- 3D CAD 作図・編集
- レイヤー分け
- 点群 / メッシュ高速展開・高速表示
- 点群抽出ファイル化
- MMS 走行 / 画像同期
- 点群 間引き表示

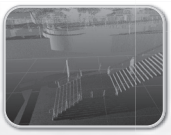
豊富な出力

- 図形出力：DWG, DXF, 3D PDF
- オルソ出力：オルソ画像
- 断面出力：CSV, DWG, DXF, 3D PDF
- 測量データ：プロット・区画結線SIMA, TXT, 縦横断SIMA
- 専用 Viewer 出力：インストール不要で利用可能
- 点群出力：PTS, LAS, PCD, CSV, TXT, XML
- メッシュ出力：DWG, DXF, STL（3Dプリンタ）, 3D PDF
- 動画出力：AVI一線形基準 AVI一2点指定
- 出来形管理出力 i-Construction：出来形合否判定総括表 PDF / 出来形計測データCSV（計測点群）（工事基準点）（標定点）

物体自動認識

従来の点群処理で最も労力を必要としてきた「手前の物体」「奥の物体」の選別を１クリックで行える強力機能を搭載しています。選別したものを削除、あるいはグループ分けするなど、点群の基本整形作業をスムーズに進められます。

点群グループ化・抽出



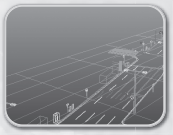
自由にネーミング可能な点群のグループ化、作業エリアの絞り込みや目的とする物体の抽出、必要に応じたファイルへの書き出しが可能です。また、AutoCAD®や Wingneo® INFINITY で作業するためのオルソ画像を生成することも可能です。

グラウンドフィルタリング

点群整形をサポートするグラウンドフィルタリングも搭載しています。広場・駐車場の周囲を指定すれば、地表面とのギャップが大きな樹木や駐車車両など、成果に不要な点群のみをまとめて削除できます。削除による空白は、指定した密度での点群による穴埋めが可能です。

平面的加工にも効果的な表示機能

3D 点群のエッジ表示



物体形状のエッジを強調表示し【特許第 6207647 号】３次元的なトレース作業を Wingneo® INFINITY のような２次元 CAD の感覚で行えます。平面表示しながら手前 / 奥・高低を認識するスナップで３次元結線を作図したり、水平 / 鉛直方向への延長や図形のフィットで立体形状を作成する３次元 CAD 機能を搭載しています。

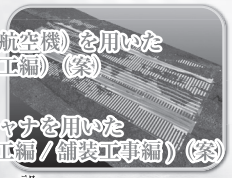
測量 / 設計データをフル活用

平成 29 年 3 月 国土地理院
三次元点群データを使用した断面図作成マニュアル（案）に準拠

点群に道路中心線形を重ね、縦断・横断データの切り出しが可能です。
基準点座標や土地の境界座標、地番情報などの測量データを点群とは混同せずに扱い、参考情報を確認しながらの切り出しが可能です。

i-Construction 対応

平成 30 年 3 月 国土交通省
空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）
平成 30 年 3 月 国土交通省
地上型レーザースキャナを用いた出来形管理要領（土工編 / 舗装工事編）（案）



実測点群に LandXML・設計データを読み込み、上記要領（案）に準拠した出来形計算を一連で行い、出来形合否判定総括表の出力まで一連で対応できます。

高速 / 精細 メッシュ作成
特許技術で抜群の生産性を実現！

特許第 6349377 号
「メッシュ作成装置、メッシュ作成方法およびメッシュ作成プログラム」

トンネル・オーバーハング形状も簡単に３次元メッシュに！

アイサンテクノロジー株式会社
〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目７番１４号 ＡＴビル
TEL 052-950-7500（代表）
3D ソリューション事業部
掲載情報に関するお問い合わせ TEL 0570-064-457
最寄りの営業所に繋がります。

プライバシーマーク 19000439

http://wingearth.com/

FUKUI COMPUTER

3次元の時代を迎え、測量CADはいま、ONEへ―

1982
福井コンピュータCAD誕生

図作

TREND-T　TREND-S

BLUE TREND

BLUE TREND Win
Windowsに完全対応。

BLUE V TREND
CALS/ECへの対応など急加速するデジタル化時代を背景に全国の測量・設計技術者から絶大なる支持。

BLUETREND XA
測量業界で求められる、属性・地図情報など高度化するデジタルデータに対応。

最強の64bitアプリケーション「TREND-ONE」誕生!

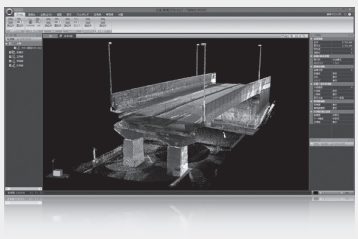
処理データの大容量化、高速化、可視化、共同編集など、測量業界で欠かせない機能を装備し、変わらぬご支持をいただく「BLUETREND XA」。しかし、パソコン環境は進化し続け、いまや64bitパソコンユーザも一般的です。そんな環境を最大限に生かすため、最新・最強の測量CAD「TREND-ONE」が誕生しました。サイズの大きなデータも手軽に扱え、最小の手数で成果を作成できるようユーザー・インターフェイスも一新。かつてない強力かつ使いやすい環境で、飛躍的な効率化を体感してください。

TREND-ONE
測量CADシステム【トレンドワン】

福井コンピュータの測量業向けソリューション

"i-Construction"を強力に支援する3D点群処理システム!

TREND-POINT
3D点群処理システム【トレンドポイント】



軽快なフィールドワークを担う現場端末システム!

TREND-FIELD
現場端末システム【トレンドフィールド】

福井コンピュータ株式会社
本社／〒910-0297 福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6

●お電話でのお問合せは【福井コンピュータグループ総合案内】
ナビダイヤル 0570-039-291

●製品の詳しい情報、カタログのご請求は
福井コンピュータ　検索
https://const.fukuicompu.co.jp

札幌・盛岡・仙台・水戸・宇都宮・高崎・新潟・長野・埼玉・千葉・東京・横浜・静岡・名古屋・岐阜・福井・京都・大阪・神戸・岡山・高松・松山・広島・山口・福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄

NISHIO

すべての現場の効率化・省力化に、あらゆる機械でこたえます。

橋梁点検

3つのポイント

- 狭幅員橋梁点検業務に最適
- 通常では通行止めが必要な橋でも片側車線で施工可能
- 耐荷重が小さい橋梁にも対応

橋梁点検車
MBI70

可動式橋梁検査路
ブリッジハンガー

建設 ICT

マシンコントロール
マシンガイダンス等

トンネル点検

トンネル点検車
YX50TG

全国ネットのサービス体制で公共性の高い道路・土木工事から、
建築・設備工事に対応する機械、工場やプラントメンテナンス機材など
様々なシーンで活躍するレンタル商品を幅広く取り揃えています。

お問い合わせ

総合レンタル業のパイオニア
西尾レントオール株式会社

■中部第 1 営業部

名古屋営業所	〒455-0855 愛知県名古屋市港区藤前 4-702-1	TEL.052（303）6240	FAX.052（303）6613
三重営業所	〒510-1251 三重県三重郡菰野町千草 5141-4	TEL.059（394）7240	FAX.059（394）7241
一宮営業所	〒491-0824 愛知県一宮市丹陽町九日市場 36-3	TEL.0586（77）5240	FAX.0586（77）5743
東海営業所	〒476-0001 愛知県東海市南柴田町ホノ割 213-9	TEL.052（689）0240	FAX.052（689）0241
尾張旭営業所	〒488-0838 愛知県尾張旭市庄中町 1-4-19	TEL.0561（53）8240	FAX.0561（53）5901
東濃営業所	〒507-0072 岐阜県多治見市明和町 2 丁目 98 番地	TEL.0572（20）2406	FAX.0572（20）2419
豊橋出張所	〒441-8077 愛知県豊橋市神野新田町ヘノ割 39-1	TEL.0532（34）2401	FAX.0532（34）2403

■中部第 2 営業部

豊田建築設備営業所	〒471-0854 愛知県豊田市元町 15	TEL.0565（27）2403	FAX.0565（27）2407
豊田営業所	〒470-0217 愛知県みよし市根浦町 4-1-1	TEL.0561（33）0240	FAX.0561（33）0246
小牧営業所	〒480-0202 愛知県西春日井郡豊山町大字豊場字大山 140-1	TEL.0568（29）0240	FAX.0568（29）0263
北陸建築設備営業所	〒932-0031 富山県小矢部市岡 357-1	TEL.0766（68）3240	FAX.0766（68）3243
浜松営業所	〒433-8112 静岡県浜松市北区初生町 394-9	TEL.053（438）8240	FAX.053（438）8248
名古屋建築設備営業所	〒470-1141 愛知県豊明市阿野町奥屋 44	TEL.0562（92）7240	FAX.0562（92）7247

一般社団法人全国測量設計業協会連合会中部地区協議会

～「グループ保険制度」のご案内～

一緒に働く仲間だからこそ、大切にしていきたい…そんな企業さまの想いに応えた保険です！

●制度内容（企業負担型・個人負担型共通）

本人						
申込口数(口)	一般の死亡・高度障害【死亡・高度障害保険金】(万円)	不慮の事故による上乗せ給付		不慮の事故によるその他の給付		月払保険料(円)
		不慮の事故による死亡 特定感染症による死亡 ※1 (万円)	不慮の事故による高度障害 ※2 (万円)	不慮の事故による身体障害(程度により) ※3 (万円)	不慮の事故による5日以上の入院(120日を限度として) ※4 1日につき(円)	
6	1,200	1,200	1,200	420～60	9,000	4,980
5	1,000	1,000	1,000	350～50	7,500	4,150
4	800	800	800	280～40	6,000	3,320
3	600	600	600	210～30	4,500	2,490
2	400	400	400	140～20	3,000	1,660
1	200	200	200	70～10	1,500	830

・保険料は年齢に関係ありません。
・脱退した場合、既に払い込まれた保険料に対応する期間まで保障が継続します。

※1 不慮の事故による死亡 特定感染症による死亡	災害保険金(災害割増特約より)+災害保険金(災害保障特約より)
※2 不慮の事故による高度障害	災害高度障害保険金(災害割増特約より)+障害給付金(災害保障特約 給付割合表第1級)
※3 不慮の事故による身体障害(程度により)	障害給付金(給付割合表第2級～第6級)(災害保障特約より)
※4 不慮の事故による5日以上の入院(120日を限度として)	入院給付金(災害保障特約より)

◎本人コースの他に、配偶者コース・こどもコースもあります。
（配偶者コース・こどもコースは個人負担型のみ取扱い可能です。）
◎記載の保険料は正規保険料です。
◎保険料は、年齢に関係なく一律です。
◎制度内容等詳細についてはパンフレットをご一読ください。

「グループ保険制度」の特徴

●全測連中部地区協議会にご加盟の企業さまのみご加入できる保険です。

●万一（死亡・高度障害）の場合、死亡・高度障害保険金をお支払いします。

●不慮の事故による死亡・高度障害・身体障害・５日以上の入院の場合の保険金・給付金をお支払いします。

保険料

●保険料率改定により、保険料が下がっています。
※２０１８年４月２日更新契約からは、昨今の死亡率低下などを反映した保険料率改定を行っています。保険金支払などが過年度と同条件であった場合でも剰余金が減り、配当率が低下します。

次回の新規加入は最短で例年2月頃に行っている中途加入からになります。
ご不明な点等あれば、お気軽に下記連絡先までお問い合わせください。

【ご質問・お問い合わせ先】 明治安田生命保険相互会社 中部公法人部法人営業第一部 （引受会社）

TEL 052－951－9115（時間：平日９：００～１７：００まで）

MY-A-18-他-006788

測量・設計業界の2つの企業年金制度

～・～老後生活の安定と福利厚生の充実を～・～

確定給付年金

平成29年4月に認可を受け、
厚生年金基金から制度移行しました。

- **退職給付制度**
  事業主様負担の掛金に 毎年2.5%の利息を付利して、加入期間に応じて一時金又は有期年金を退職（死亡）時に給付します。
- **幅広い福祉事業**
  結婚・出産・就学・災害・死亡等に対する様々な慶弔見舞金、全国の宿泊保養施設の宿泊補助金等の支給を行います。

確定拠出年金

将来の給付額は個人(従業員)
の運用結果で変動します。

事業主様が負担する掛金は定額で、
運用結果等で変動することはありません。

- **税制優遇を受けながら老後資金の準備**
- **制度導入・運営等の事務費負担軽減**
- **高品質・低コストな運用商品**

測量基金 検索

そくりょう&デザイン企業年金基金

〒162-8626 東京都新宿区山吹町11番地1
TEL: 03-3235-7211

東日本建設業保証株式会社

- 業務委託時の資金調達には → 前払金保証
- 契約時の保証金納付に代えて → 契約保証

KKS 株式会社建設経営サービス

- eラーニング形式でのユニット取得 → 土木施工管理者のための CPDS認定WEBセミナー

日本電子認証株式会社

- 電子入札の応札時に
- 電子契約サービスに対応 → AOSignサービス
- 様々な電子申請に対応 → 法人認証カードサービス

各種お申込・お問合せは

東日本建設業保証株式会社 愛知支店

〒461-0008 愛知県名古屋市東区武平町5−1 名古屋栄ビルディング3F
TEL 052-962-3461 FAX 0120-027-516
URL https://www.ejcs.co.jp/

地理空間情報活用による インフラ施設の一括管理

株式会社 オービタルネット
ORBITAL NET INC.
TEL (052) 249-3350 FAX (052) 249-3360
www.orbitalnet.jp

◆オープンソースＧＩＳの開発・サポート
◆オープンソース三次元データ作成・ｗｅｂサービス
◆人工知能による分析・モデル作成・ｗｅｂサービス
◆情報・データ通信システムの調査、研究、開発
その他各種情報システム利用のコンサルタント

平成 30 年 4 月設立

インフラ施設の調査、点検から解析、補修設計、施設情報管理まで

①橋梁点検　②歩道橋点検
③道路付帯施設点検　④路面性状調査
⑤排水路点検　⑥下水道点検
⑦地下横断函渠点検　⑧補修設計
⑨ＧＩＳによる施設管理　etc

人・都市・コミュニケーション
KANA-L 建設コンサルタント
株式会社カナエジオマチックス 代表取締役 川﨑 敏昭

本　社
〒460-0012 名古屋市中区千代田 1 丁目 12 番 5 号
ＴＥＬ(052)249-9611(代) ＦＡＸ(052)249-9601(代)
E-mail:kanal@kanal.co.jp

岐阜支店・G空間センター
〒509-9132 中津川市茄子川字前田 1383 番 10
営 業 所
三河（豊川市）・岐阜（瑞穂市）・三重（四日市市）

未来ある街づくりを サポートする

めざせ!!50周年
はばたけ!!新日

補償調査　測量調査　建設コンサルタント　建築設計　不動産鑑定

■ 本社
〒454-0011
名古屋市中川区山王1-8-28
TEL 052-331-5356
FAX 052-331-4010
https://shinnichi.co.jp

■ 支店・営業所
東三河、西三河、豊田、一宮、稲沢、岐阜、三重、
伊勢、関西、関東、静岡、東北、仙台、福島、南相馬

■ 関連会社
新日土地家屋調査士法人、新日行政書士法人、
株式会社ミタス伊勢、株式会社シンニクス

総合建設コンサルタンツ
シンニチ
株式会社 新日

人と自然を創造する総合建設コンサルタント

株式会社 名邦テクノ

本社　〒457-0048　名古屋市南区大磯通六丁目9番地2
ＴＥＬ052-823-7111　　ＦＡＸ052-823-7110
支店：豊田、東三河、静岡　　営業所：岐阜、三重、長野、稲沢、西尾

信頼と実績による業務内容
- ■ 建設コンサルタント
- ■ 補償コンサルタント
- ■ 測量
- ■ 不動産鑑定
- ■ 土壌汚染指定調査機関
- ■ 宅地建物取引業者

i-Construction
H29.6　ＩＣＴアドバイザー登録

当社は地域貢献に努めています
- ■ ＩＳＯ9001：2015
- ■ エコ事業所
- ■ ＡＥＤ設地事務所
- ■ 通学路子供110番の家
- ■ 地域防災協力事務所

Ⅰ　3次元測量　Ⅱ　3次元設計　Ⅲ　3次元出来形管理

お客様へ、6つの約束

1 24時間 365日対応

中京コピーは「24時間365日作業体制」を敷いております。
週末や深夜時間帯も計画に入れて工程を組みますので、突発的な大量物件へも「驚きの短納期対応」を実現します。
また当社のオンラインデータ入稿サービス“CC_Web”をご利用いただきますと、例えば深夜入稿→翌朝納品といったフローでお客様をサポートすることも可能です。

2 品質管理の徹底

最新鋭のオンデマンド印刷機をはじめ、
大型・高速スキャナや高品質製本機器などを
駆使してお客様をバックアップします。
用紙選択から加工・梱包に至るまで、作業段階ごとに整備されたマニュアルに基づき、ご満足いただける商品づくりに努めております。

3 全国各地へ 営業・出張対応

中部地区はもちろん、全国どこへでも
お伺いいたします。
「現地事務所内で機密資料を電子化」、
「原稿確認とお見積り」など、なんでも
お気軽にご相談ください。
最良のプランをご提案さしあげます。

4 入力から出力まで 一貫して対応

1つの物件で、編集作業はA社へ、
印刷・製本はB社へと、バラバラに発注
しなければならず、仕上がりをまとめる
タイミングが合わない…というような、
煩わしい思いをされていませんか？
中京コピーなら、データ編集、出力から
最終加工まですべて「社内一貫作業」です。

5 万全なセキュリティ体制で 安全を確保

お客様からお預かりした原稿データや機密情報は、
納品完了後、マニュアルに基づき速やかに削除しております。
プライバシーマーク認証をはじめ、セキュリティに関する有資格者の在籍、個人情報漏洩保険への加入、日常の入退室管理などについても徹底し、情報漏洩防止に努めております。

6 お客様の書類管理を 有資格者がサポート

「JIIMA：文書情報管理士」
「JACIC：CALS/ECインストラクター」
「OCF：SXF技術者」
「NOMA：ファイリング・デザイナー」
「知的財産管理技能士」
などの有資格者が多数在籍しております。
外部講習への参加や、社内勉強会の定期開催など、日々最新情報の収集にも努めております。

プリントオンデマンド

少部数＆低コスト印刷の決定版

必要な時に必要な数だけ安く印刷したい…そんな時代の声にお応えする印刷方式「プリントオンデマンド」。カラーコピーやインクジェットプリンターより高品質で、製本などの仕上げもパーフェクト。ビジネスにもプライベートにもお気軽にご利用いただけます。

■個人出版
一冊からでも心を込めて印刷・製本。
装丁のデザインもご提案！

■会議資料・マニュアル
「明日の会議に間に合わせたい」…
そんなご要望にもスピーディーに対応！

■カタログ・パンフレット
必要な部数だけ印刷し、
販促コストを大幅に削減！

■メニュー
写真差し替えもすぐに対応。
オリジナルメニューでイメージアップ！

プロットアウト

小物から垂れ幕サイズまで出力

図面データや大型カラーポスターなど、一般のプリンターでは出力不可能なサイズに対応します。

電子納品

専門インストラクターが完全サポート

CALS/ECインストラクターが多数在籍し、お客様の電子納品を完全サポート。業界トップの設備と実績でご要望にお応えします。

スキャニング・電子ファイリング

膨大な資料を超コンパクト化

- お客様の紙原稿をデジタルデータ化。
- CD-R、DVD-R他、お好みのメディアに保存。
- 書類の保存、保管に最適。
- 倉庫、書庫の省スペース化を図り、コストを削減。
- 必要な書類の検索や出力が簡単。
- PDF、しおり、サムネールなどもOK。
- 当社オリジナルのNeoviewもご用意。
- お客様のニーズに合わせたカスタマイズも可能。

中京コピー株式会社　TEL 052-931-2611
ISO 14001認証取得　エコ事業所認定
www.chukyocopy.co.jp

■東京事務所
〒101-0021
東京都千代田区外神田4-12-9
ヒューリック秋葉原ビル6階
TEL：03-6300-7983
FAX：03-6300-7984

■大阪事務所
〒532-0011
大阪府大阪市淀川区西中島7-1-20
第1スエヒロビル 503号
TEL：06-4862-5241
FAX：06-4862-5251

■仙台営業所
〒980-0021
宮城県仙台市青葉区中央4丁目8-17
TEL：022-399-6192
FAX：022-399-6198

編 集 後 記

『ありがとうございます』の言葉を求めて。

本年度も機関紙「方位」を刊行することができました。ご多忙の中、ご寄稿頂きました愛知県建設部長河野様、中部地方整備局企画部長岩田様、愛知県建設部建設企画課課長補佐髙橋様には、厚くお礼申し上げます。

また、会長初め協会会員皆様にも協力頂き、ありがとうございました。

さて､今年も開催しました｢甲子園｣。甲子園と言っても愛知県測量設計業協会では｢測量甲子園｣。この大会に愛知県内の高校が６校参加し、日ごろの勉強の成果を競ってくれました。競技中は、審査員も驚く程の精度が出たり、緊張の余り操作が分からなくなり、審査員にアドバイスを受けた方がいたりと色んなことがありました。お陰様で大会は、例年同様に盛り上がったようです。また、最優秀賞は稲沢高校が３連覇し、日ごろの成果がさらに磨きがかかり強豪の肩書が付いたと思います。他校の皆様も、僅差で届かなかったようですが、来年も最優秀賞目指して頑張って欲しい所です。各校の先生の方々もご指導ありがとうございました。

このように多くの高校生が測量を学んでくれていることは嬉しいことですが、新卒の入職希望者が年々減っているのが現状です。協会会員の皆様も担い手の確保に苦労していると思いますが、協会としても今まで以上に魅力等を学生達に伝えていきたいと思います｡入職を決めて頂いた学生に、ありがとうと言える日が来ることを願います。

続いて本年度初企画、若手社員の紹介・中堅社員の投稿を記載させて頂きました。協会会員の三年目までの若手の方は、まだまだ初々しい記載となっています。諸先輩方の良い所を学んで頂き、成長していってください。この業界を選んでくれてありがとう。

中堅社員の記載も、苦労話や、これからについて思うことを書いて頂きました。さすが中堅社員と言えるぐらい、頼もしい方々だと思います。中堅社員の方々には、さらに飛躍してもらい、ベテラン社員からのバトンを引き継いでいって欲しいと思います。若手指導も大変な中堅社員にいつもありがとうございます。

話は変わり、今年も災害が多発しております。テレビを見ると、災害現場の特番が多く、色んな事を考える日々でした。その時、私事ですが近所の方に、｢南海トラフ地震は、もう来ないのかな｣と話し掛けられました。さすがに地震の事は詳しくないですが､｢今日来るかも知れない、明日かもしれない､何十年後かもしれないけど､対策しとかないといけないよ｣としか言えませんでした。ご存知の様に、愛知県は｢南海トラフ地震｣が来ると予想されていますが、各地で起きている災害を見るとさらに、産・官・学は共により一層対策対応していかなければならないと思っています。愛知県測量設計業協会も、発注者から｢ありがとう｣と言って貰えるように、より一層良い設計・提案をしていきたいと思います｡人々が毎日当たり前に通る道路､川を渡る為の橋梁､集う公園､等々私共が当たり前だと思っていることに貢献できており、造ってくれて｢ありがとう｣と思ってくれていると思います。私共の業界は､｢ありがとう｣と言って頂ける業界、またそれに向かって日々仕事に励んでいる業界であります。｢ありがとうございます｣は､励ましの言葉なのかも知れません。

最後になりますが、今年７月に発生した｢西日本豪雨｣で被災された皆様方に改めまして衷心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。また、復旧・復興に御努力されている多くの皆様方に最大の敬意を表します。

これからも（一社）愛知県測量設計業協会を宜しくお願いします。

ありがとうございました。

広報委員会副委員長　森　康彰

『方位』　　第40号

発　行／　平成30年10月１日発行

発行者／　一般社団法人　愛知県測量設計業協会
〒460－0002
名古屋市中区丸の内3丁目19番30号
愛知県住宅供給公社ビル3階
TEL（052）953－5021
FAX（052）953－5020
E-mail:jimukyoku@aisokkyo.or.jp

編　集／　広報委員会

委員長	永草新吾	委　員	須藤一彦
副委員長	西出剛大	委　員	山本章好
副委員長	森　康彰	委　員	川澄　功
委　員	伊藤　悟	委　員	加藤健司
委　員	香村信男	副会長	梶川　洋
委　員	碓井　稔		
事務局			

印　刷／　中京コピー株式会社

愛知県測量設計業協会は、障がいがありながらも自立を目指す才能のあるアーティストを応援します。

アート・福祉・地域活性・経済活動をつなぐ新しいかたちとして誕生した、アティックアートの活動の輪を社会に広げていきたいと思います。

(一社)愛知県測量設計業協会 × アティックアート ×

ピアセンターなないろ／
福岡麻衣